





十 二 所 町	扇 田 村	矢 立 村	花 岡 村	釋 迦 内 村	長 木 村
曲輕猿葛道十	扇	長橋柏白	花	商沼松松釋	雪柄東茂大
井 目二	田	走術田澤	岡	人 迦	茂
田 間原	田	走術田澤	岡	館峯木	澤澤 内
澤 木所				留 内	内
村村村村町	村	村村村村	村	村村村村村	村村村村村

大 館 町	上 川 沿 村	下 川 沿 村	山 瀨 村	早 口 村	綴 子 村
蘆下上	西東	中山餅根小池	川立餅片	岩山	外長早
田代代	大大	下館			川
子野野	館館	山館釣	内 口花田山	瀬田	坂口
		戶花			原
村村村	町町	村村村村村	村村村村	村村	村村村



下 小 阿 仁 村	落 合 村	大 野 村	米 内 澤 村	七 日 市 村	澤 口 村
根三三銀芹	羽新福李	增八木道川下上	浦本米	七	小脇中
木 田里 澤 田	根田 山目	幡 借 澤 新 石 田	内 城 澤	日 市	屋 森神 敷
村村村村	村村村村	村村村村村村	村村村	村	村村村

北 秋 田 郡					
興 中 村	二 井 田 村	西 館 村	東 館 村	大 葛 村	
山小櫃大板赤	大杉比下本二	白小片八遠谷笹	中味新獨	大	
川袴崎披澤石	子内川井澤坪木地	水貝子館野館鉆	内	葛	
村村村村村	村村村村村	村村村村村村	村村村村	村	







山 本 郡									
藤	荷	二	響	富	鶴	扇	檜		
琴	上	ツ		根	形	淵	山		
村	村	村	村	村	村	村	町		
太	加	二	槍	切	小	白	駒	鶴	大
長	上	ツ	濁	代	石	掛	形	淵	中
鐵	護	井	山	内	代	掛	形	淵	大
山	場	井	川	村	村	村	村	村	大
村	村	村	村	村	村	村	村	村	大

金	森	下	上	鹿	鶴	濱	淺	柳	
岡	岳	岩	岩	渡	川	口	内	村	
村	村	村	村	村	村	村	村	村	
志	森	下	上	天	鹿	久	富	鶴	大
外	岡	岩	岩	天	鹿	川	富	鶴	大
岡	岳	川	川	天	鹿	川	富	鶴	大
橋	田	川	川	天	鹿	川	富	鶴	大
村	村	村	村	村	村	村	村	村	大



四ツ小屋村	仁井田村	豊岩村	濱田村	新屋村	牛嶋村	岩館村	八森村	澤目村
末戸村	小阿松村	目長村	仁井田村	小百三山村	百三段濱田村	百三段新屋比内南町	柳原新嶋田村	牛嶋新嶋田村
高田野村	沼中村	目田村	名澤村	八森村	岩館村	八森村	八森村	八森村

崎川村	東雲村	常盤村	種梅村	柏毛村
外内小比坂畑石崎	磐竹須落向具吹荷朴	久槻外天常	梅種	矢柏
荒手八形谷川	能壁八喜割	越瀬	内盤内	坂毛
卷卷萩田	生田命	代地田	澤田	



下 北 手 村	上 北 手 村	岩 見 三 内 村	船 岡 村
本 庄	本 庄	本 庄	本 庄
寶 川	黑 川	梨 平	通 澤
塞 川	柳 川	松 館	櫻 崎
荒 卷	小 山	大 野	大 野
百 所	御 野	古 山	大 山
猿 見	岩 三	三 内	船 岡
張 野	內 野	見 野	澤 岡
町	町	町	町
村	村	村	村

河 邊 郡			
和 田 村	豐 島 村	中 川 村	川 添 村
神 大	大 赤	高 諸	和 諸
豐 畑	松 北	戸 女	相 左
野 田	野 田	賀 米	手 尾
張 野	內 野	澤 木	子 鳥
張 野	內 野	澤 木	子 鳥
村	村	村	村
村	村	村	村







出				
郷				
村				
下	玉	笹	川	直
郷	米	子	内	根
村	村	村	村	村
老杉宿法藏 黒田館 下上 栗下上小伏 牙猿下上百中 木坂新				
方	内	淵代合	川川	ノ直直直ノ
森	子	子	澤川見	倉宅在庄
村	村	村	村	村
村村村村村 村村村村村 村村村村村 村村村村村 村村村				

羽				
後				
國				
矢	院	小	上	
嶋	内	出	郷	
町	村	村	村	
立元荒七川城矢矢矢 釜冬田馬小院 水畑寺廻中伊 大横長泰小				
日	嶋	嶋	勢	
石町澤	邊内	田矢	目三	飯
町	館	中嶋	野地	岡
村村村村村町町町 村村村村村 村村村村村 村村村村村				



	南 内 越 村	小 友 村	鮎 川 村
中内	大山畑土福川	二大館大金北南三萬荒	西堰平町南黒東
		十中	福 鮎
館越	浦田谷谷山口	六ノ前澤山 願 條 町	澤口石 澤 田 川
		木澤 股股 寺	
村村	村村村村村村	村村村村村村村村	村村村村村村

	西 瀧 澤 村	東 瀧 澤 村	石 澤 村
盤土山新吉森川飯陳曲小久五大東前	上湯柳鳥大山瀧宮鮎雪烏館		
上 倉 本 澤 子 西 澤 澤 川 鄉 野 澤 生 築 内 澤 瀨 川	菅保十水中 田 ノ 車		
條 森 野田土口澤 目 澤 町			
村村村村村村	村村村村村村村村	村村村村村村村村	村村村村村村



	松ノカ崎村		龜田町					大正寺村	
二内	親蘆神松	下上六下上	龜龜瀨赤泉富龜龜	向萱徒神繁					
道	ノカ	黒黒呂蛇蛇	田田	田田					
古	川川	最	俣平田田愛龜	野田ク					
川	澤崎	川川田田大	上	岩田					
村	村村村村	村村村村村	町村村村村	村村村村村					

	上川大内村	下川大内村	岩谷村	北内越村					
羽瀧小岩新中	平長及葛加松中高中新	北米大大德三岩岩	深内赤						
栗野田	賀	福倉谷谷	黒						
廣目田	船坂位岡	坂谷澤川	澤田						
山澤	代	田澤	麓町						
村村村村村	村村村村村	村村村村村	村村村						



南 檜 岡 村	強 首 村	大 澤 郷 村	土 川 村	荒 川 村
南 檜 岡 村	寺木金九大強 館原山升 尻 卷首 田澤田 引	高北大圓正杉大 、澤行手山澤 城 郷 郷 目 寺 澤田 宿	小必西半 杉 今道 山 泉寺	上境稻荒 淀 澤川 川
村	村村村村村	村村村村村	村村村	村村村

淀 川 村	刈 和 野 村	神 宮 寺 村	花 館 村	大 曲 村	下 濱 村	道 川 村
小下中 淀 種 川 村	峯刈 吉和 川野 村	北神 檀宮 岡寺 村	花 館 村	貫 薛川合高目田曲 畑	猶八名羽桂長 ヶ 川根濱 澤	君道勝 ヶ 川手 野 村
村村村	村村	村村	村	村村村村村村	村村村村村	村村村



仙北郡																	
神代村									角館町								
角館	卒田	梅田	岡崎	小島	神代	岩瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬	角瀬
館	東	前	郷	田	澤	崎	松	代	瀬	下	七	勝	上	下	岩	岩	細
村	村	村	村	村	村	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村

百七十五

長野村																							
四ツ屋村			高梨村			藤木村			大川根村			外小友村		内小友村									
上	下	長	鎌	北	長	松	高	新	四	戸	上	拂	橋	高	下	六	藤	蛭	大	外	宮	中	内
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野

百七十四



	長 信 田 村	横 澤 村	豊 岡 村	豊 川 村	白 岩 村
小千	東小太川永齊	國中三駒横	大栗豊	東長八田豊	園白白
荒屋川	今神 田口代内 泉成	本 見里 扇	神 澤岡 成	長谷幡 川受 野川林	岩廣 田久 内
村	村村村村村	村村村村村	村村村	村村村村村	村村村

	清 水 村	雲 澤 村	中 川 村	西 明 寺 村	檜 木 内 村	田 澤 村
野油黒賢	八下雲西	山小河	小西上門小西	上下	玉田	洞刺生
口 郷	長 野	谷勝 川原 崎	淵荒荒 野井井	山明 屋 田寺	檜 木 内	保 卷 内
村村村	村村村村	村村村	村村村村村	村村	村村	村村村







平						
鹿						
郡						
吉田村	陸合村	植田村	三重村	十文字村	増田村	醍醐村
下中上	谷陸	源木植	鼎上十	仁佐腕梨十	八龜増	下上明馬
吉吉田	地合	太左前	銅野新	井賀越	木字新	繩繩
田田内	新合	馬	倉田	田會	木田	澤鞍
村村	村村	村村	村村	村村	村村	村村

榮						
山						
内						
村						
石醍	安婦外大大新	三南筏黑小大平士大	横横横横横横横	横横横横横横横	横横横横横横横	横横横横横横横
成翻	氣屋屋藤	ッ 松松野	手手手手手手手	山野御御黑嶋	前横ノ沼御御黑嶋	前横ノ沼御御黑嶋
村	堤町内田	郷澤 川川澤	郷手新	手田扶免新崎	手田扶免新崎	手田扶免新崎
村	村村村村	村村村村	村	村	村	村



角 間 川 村	黒 川 村	境 町 村	朝 倉 村	旭 村	田 根 森 村	阿 氣 村
角 間 川 村	百 萬 川 村	下 上 下 上 境 境 丁 村	八 杉 杉 静 陸 幡 澤 目 町 成 村	深 溝 猪 赤 三 赤 水 町 新 岡 柳 田 村	八 田 根 森 村	阿 氣 村

館 合 村	大 森 村	八 澤 木 村	沼 館 村	里 見 村	福 地 村	淺 舞 村
宮 薄 田 村	大 森 田 村	猿 坂 上 八 澤 溝 木 村	會 矢 二 今 沼 塚 神 宿 館 山 村	造 砂 樽 東 子 見 里 田 內 村	南 深 常 西 道 柏 形 非 野 野 地 木 村	下 淺 倉 舞 鍋 村



須	三	皆	稻	三	川	駒
川	關	瀬	庭	梨	連	形
村	村	村	村	村	村	村
宇高酒和	下土關	畠川	稻	飯宮三	川大	大大三戸東八
留						福
院松特川	關關口	等向	庭	田田梨	連館	倉門又波 面
內						寺
村村村村	村村村	村村	村	村村村	村村	村村村村村

西	東	岩	幡	辨	湯	川
成	成	崎	野	天	澤	西
瀬	瀬					
村	村	町	村	村	町	村
熊湯吉猿萩	椿岩田	成岩	柳八金倉	角二杉杉森	湯	十袴坂
ノ半	井子			井澤		日井
淵野袋	川	澤崎	田幡谷内	間新	澤	形
澤内	川内			田所		町田
村村村村	村村村	村町	村村村村	村村村村村	町	村村村



尾去澤村	花輪町	仙道村	田代村	明治村	新成村	元西馬音内村
三尾尾	花	中上下	輕上田	大水林拂堀新	糠嶋高郡足	飯西音馬内堀回
ッ去		仙仙仙	井到		田尾	澤内
矢澤去	輪	道道道	代澤米	澤澤崎体内町	塚新山田	野
澤鏡					田	崎
村山村	村	村村村	村村村	村村村村村	村村村村村	村村村

西馬音内村	三輪村	山田村	院内村	秋ノ宮村	横堀村	小野村	雄勝郡
鹿田床大西	野大赤貝杉	松深石山	院下上	川役中	寺横	泉桑小	
馬	久		内院院			ヶ	
内澤舞戸音	中袴澤宮	岡堀塚田	銀内内山	井内	澤堀	野	
内	保					崎	
村村村村	村村村村	村村村村	町村村	村村村	村村	村村村	



<p>○秋田縣告示第三號 明治廿二年四月六日                  町村役場位置別紙之通相定ム                  但町村長上任ノ後開廳スル義ト心得ヘシ</p>		郡	町	村	名
上下豐飯大金上下飯土外下上太廣寺川 井井 田久 新新 崎旭旭 山 河 河 足 城 城 港川川 平 内尻 村村村村村村村村町村村村村村村村		大	役	場	字
菴濱船下 岩五笠飯 神保添目廣寺 井 此 十 戶 長 田川橋川 瀬丁岡島 田野川崎面内		小	位	置	字
深 町前小關下小奧 谷 總 飯鴨神 内 社 持 後山林場嶋町田 渡 前					

<p>○秋田縣令第四十二號 明治廿二年四月一日                  南秋田郡役所ヲ同郡土崎港町ニ移ス                  但追テ開廳ノ期日ヲ告示スルマテハ從前ノ郡衙ニ於テ事務ヲ取扱フ義ト心得ヘシ</p>							
陸 中 國 鹿 角 郡							
大	小	七	毛	錦	柴	曙	宮
湯	坂	瀧	馬	木	平		川
村	村	村	町	村	村	村	村
草	小	大	上	山	瀬	岡	毛
	坂	地	谷	向	根	田	馬
木	湯	坂	地	谷	向	根	田
	鑛					石	内
村	山	村	村	村	村	村	村
村	村	村	村	村	村	村	村







由	河
利	邊
郡	郡
東石下玉笹川直矢院小上上盤金平西子本 灘 澤郷米子内根島内出郷濱越浦崎目吉庄 村村村村村村町村村村村村村村村村	下上岩船和豐中川四 北見 手手内 村村村村村村村村村
前館藏館上伏中矢院伊小川 金平出藥 勢 笹直居 師	櫻猿三船和戶種椿四 ツ 小
郷 合子見根島内地灘袋 浦澤戶堂	田内岡田島澤川屋
後 藏館町 南 川二 中出家美 丁 目 倉 谷子 野 下 鹽 野 崎越 町戶腰町 地澤崎渡田町田戶場	櫻砂野上和本沼鹿城 一 野 下 谷子 野 當

	山
	本
	郡
仁豐濱新牛 井岩田屋島 田村村村村	鶴扇岩八荷二澤塙東常種柏藤響富拾金鹿鶴濱淺森 上ッ 形淵館森場井目川雲盤梅毛琴 根山岡渡川口内岳 村村村村村村 組組組 合合合 村村村村村村村村町村村村村村
仁豐 百牛 井 三 田卷 段 屋島 新	水塙向常梅柏藤仁飛檜豐鹿鶴濱淺 能 岡 澤 代盤内毛琴耐根山田渡川田内
中元北牛 愛 新 中 岩	鶴 八 二水大向町前春家大飛檜豐鹿西福淺岩 形八森比ッ 村森村井村 ノ森ノ井ノ 内本内
田島村町嶋	形 郷 野 澤澤代邊田野後端根町岡渡川澤内瀨







鹿	雄
角	勝
郡	郡
毛錦柴昭宮尾花 馬 去 木平 川 輪 内 澤	仙田明新元西三山院秋横小須三皆稻三川駒西 道代治成馬音輪田内ノ堀野川關瀨庭梨連形 音内 音内 宮村組
町村村村村村町	村村村村村村村村村合村村村村村村村
毛末柴長宮去 馬 井 澤 内廣内田麓山	下田新足西西杉山下中 小相關川 三川八荻 仙 馬 馬 小野 意内音 堀 村ノ内
道代町田回内宮田内村野 川口向 梨連面袋	
毛上高三小笹下 馬 豆小花 屋	新麓新安攀本大川常山 小 須關下稻林野八具 良 盤 菅
内敷市田澤屋輪	屋 町町 町門原町岸 野 川口生庭田村面當

	平
	鹿
	郡
東岩幡辨湯 成 崎野天澤 瀬	川角黒境朝旭田阿館大八沼里福淺吉陸植三十増醍 間 根 澤 文 西 川町倉 氣合森 館見地舞田合田重 田翻 川 森 木 字
村町村村町	村村村村村村村村村村村村村村村村村村村
田岩金森 子	袴 黒上陸赤田 薄 八沼東深淺中陸植上文増醍 根 澤 吉 鍋字 新
内崎谷	形 川境成川森 井 木館里井舞田合田倉田田翻
田岩金嶽内 子	砂東上館碓村上阿薄大中沼東深覺田今植掄十本中 ノ館 間本和 ノ田 ノ 文 醍
内崎谷下町	内町野 前村氣井森保館里井町植泉田 字町醍



大小七  
湯坂澁  
村村村  
大小荒  
湯坂谷  
大中小  
湯坂谷

百九十八

○訓示第五號 明治二十二年五月四日 各郡長

市町村制實施ニ付市町村會ニ於テ議決シタル市町村條例許可稟請書進達ノ節ハ左記ノ事項ニ依リ該市町村ニ就キ條例ノ適否ヲ精査シ意見ヲ具シ副申セラルヘシ

右訓示ス

一條例議案及其理由ノ當否

二條例ハ郡長戸長ニ於テ發布シタル議案ナルカ又ハ市町村會ノ覆議ニ因リ成立シタル議案ナルカノ事由

三市町村會議決ノ情況

有給職ヲ置クノ條例ニ係ルトキハ左ノ項ヲ加フ

四町村ニ於テ名譽職タルヘキ者ノ有無及名譽職ト爲スヘカヲサレ事由

第一類

第三會議

○甲第四十二號 明治十七年六月十九日

本年第十四號布告ニ依リ町村會規則左ノ通相定候條此旨布達候事

〔參考〕本則明治廿二年法律第十一號ニ依リ水利土工及學事會ニ關スル部分ノミチ適用ス

町村會規則

第一章 總則

第一條 町村會議員ノ數ハ左ノ區分ニ由ルヘシ

一戸數五百戸以上

拾人

一戸數五百戸未滿百戸以上

八人

一戸數百戸未滿五十戸以上

六人

一戸數五十戸以下

四人

但本條ニ依ル能ハサル町村ハ本廳ニ具狀シ指揮ヲ請フヘシ

第二條 議員ハ俸給旅費日當ヲ給セシ

第三條 書記ハ議長之ヲ撰任ス

第四條 町村會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別ツ其定期ニ開ク者ヲ通常會トナシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トナス但臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ス

第五條 町村會ハ通常會議ノ初ニ於テ町村費ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告ヲ受ク

町村會ハ議員ノ内招集ニ應セシ又ハ事故ヲ告ケスシテ參會セザル者ヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得

第二章 選舉

第六條 議員ヲ撰舉セントスルトキハ戸長ハ少ナクモ五日以前ニ撰舉會ヲ開クコトヲ公告シ役場ニ於テ投票ヲ爲サシム但便宜ニ依リ戸長役場外ニ於テ撰舉會ヲ開クコトヲ得

第二十條  
第五十九號  
追加

第一類 第三 會議

百九十九



第七條 撰選人ハ豫シメ戸長ヨリ付與シタル投票用紙ニ自己及ヒ被撰人ノ住所姓名ヲ記シ押印ノ上豫定ノ日之ヲ戸長ニ出スヘシ其投票多數ヲ得タルヲ以テ當撰人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取り同年ノ者ハ圖ヲ以テ之ヲ定ム但投票ハ代人ニ托シテ出スモ妨ケナシ

第八條 投票終ルノ後戸長ハ撰舉人名簿ニ就テ當票ノ當否ヲ查シ又被撰人名簿ニテ就當撰人ノ當否ヲ查ス若シ法ニ照シ不適當ナル者アル歟或ハ當撰人其撰ヲ辭スルキハ順次投票多數ヲ得タル者ヲ取ル

第九條 當撰人ノ當否ヲ査定スルノ後戸長ハ其當撰人ヲ呼出シ當撰狀ヲ渡シ請書ヲ徴シタル後戸長ハ其姓名ヲ其附村内ニ公告スヘシ

第十條 議員ノ任期ハ六年通常會六回ヲ經タルヲ云トシ三年毎ニ全數ノ半ヲ改撰ス第一回三年期ノ改撰ヲ爲スニハ抽籤ヲ以テ其退任者ヲ定ム但前任ノ者ヲ再撰スルヲ得

第十一條 議員中區町村會法第十條ノ資格ヲ失スル歟又ハ同條但書ノ場合ニ遭遇スル歟其他總テ欠員アルキハ更ニ之ニ代ル者ヲ撰舉スヘシ

第三章 議則

第十二條 議員半數以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第十三條 會議ハ過半數ニ依テ決ス可否同數ナルキハ議長ノ可否スル處ニ依ル

第十四條 戸長ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明シ又ハ代理人ヲシテ之ヲ辨明セシムルコトヲ得

第十五條 會議ハ傍聽ヲ許ス但議長ノ意見ヲ以テ之ヲ禁スルヲ得

第十六條 議員ハ會議ニ方リ討論ノ權ヲ有スト雖トモ人身上ニ付褻貶毀譽ニ涉ルコトヲ

得ス

第十七條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ順ハサル者アルキハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ涉ル者ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルヲ得

第四章 開閉

第十八條 町村會ハ毎年一度一月二月ノ兩日間ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ戸長ヨリ之ヲ命ス會期ハ七日以内トシ但會議ニ付スヘキ事件ナキトキハ開會セサルモ妨ナシ

第十九條 通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルキハ戸長臨時會ヲ開クヲ得其會期ハ三日以内トス但該會ヲ要スル事由ヲ速ニ本廳ニ報告スヘシ

第二十條 本廳ヨリ町村會ノ解散ヲ命セラレタル場合ニハ其解散ヲ命セラレタル日ヨリ十五日以内ニ更ニ議員ヲ改撰スヘシ

第五章 聯合會

第二十一條 聯合町村會議員ノ數ハ左ノ區分ニ由ルヘシ

- 一 五町村以下ヲ以テ聯合スル者 每町村三人
  - 一 六町村會以上十町村會以下ヲ以テ聯合スル者 每町村二人
  - 一 十一町村以上ヲ以テ聯合スル者 每町村一人
- 但五十町村會以上ヲ聯合スルモノハ議員ノ總數五十人ヲ超ユルヲ得ス此場合ニ於テ管理者ハ知事ノ認可ヲ得聯合内ヲ數撰舉區ニ分テ議員ノ數ヲ配定ス可ク各選舉區内町村會議員ハ配定人員ニ應シ互選ス可シ

二十年縣令  
第二十六號  
但書追加



二十一年  
第六十二  
章追加

第二十二條 戶長數人ノ所轄ニ涉ル聯合町村會ハ郡長之ヲ管理スヘシ  
 第二十三條 數町村ニ戶長一名ヲ置クノ町村ハ町村各自議會ヲ開クヘキ要用ナク或ハ開クヲ得サル場合アルトキハ其戶長役場所轄内ノ町村ヲ以テ聯合町村會ヲ開設スルコトヲ得但本會議員ノ數ハ第二十一條ニ依ル  
 第二十四條 聯合町村會議員ハ其町村會議員ノ中ヨリ互撰セシム但第二十三條ノ議員ハ互撰ノ法ヲ用ヰス其町村ヨリ之ヲ撰舉セシム  
 第二十五條 聯合町村會議員ノ中片道三里以上ノ地ニシテ議場ヘ一日ニ往復シ得サル地ニ住居ノ者ニ限リ一日三十五錢以内ノ日當ヲ給スヘシ  
 第二十六條 聯合町村會ハ本則第二條以下第二十條以上ニ準據ス  
 第六章 水利土功會  
 第二十七條 水利土功會議員ノ數ハ左ノ區別ニ由ルヘシ  
 一 戶數五十戶以下 四人  
 一 戶數五十戶以上百戶未滿 六人  
 一 戶數百戶以上三百戶未滿 八人  
 以上二百戶ヲ加フル毎ニ二人宛ヲ増加シ五十人ヲ以テ定限トス  
 但本條ニ依ル能ハサルモノハ本廳ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ  
 第二十八條 水利土功會ハ本則第二條以下第二十條以上及第二十二條第二十五條ニ準據ス  
 ○秋田縣令第一號 明治廿一年一月六日

十二年三月  
十五日  
村馬鞍村  
上内  
字改正

町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ寄附スル金穀物件ハ町村會ノ評決ヲ經テ寄附者ノ指定シタル費途又ハ使用ニ充ツ可シ  
 町村費ノ雜收入ハ他ノ收入ト同シノ町村會ノ評決ニ付ス可シ  
 ○秋田縣令第六十七號 明治廿一年十月廿六日  
 平鹿郡  
 腕越村  
 明澤村ノ内字  
 古 城 葉ノ下 關 合 多茂ノ木  
 向多茂ノ木  
 馬鞍村ノ内字  
 金屋西 段 下 大 下 金 屋  
 菅西町 街道東 谷地小屋 森 寄  
 白山田 八十九處 道 中 道 中 後  
 太茂田 下堰下 上 口 阿彌佐田  
 宮 南 宮 西  
 上堀口村ノ内字  
 東萩ノ目 北萩ノ目 西萩ノ目 上堀口  
 田ノ新戸 館 岡 東 野 北 冲 田  
 東冲田 中冲田 西下冲田 中ノ中川







腕越境 堤ノ上 中 鳴 堂ノ後  
 家 東 羽場下々 村頭海道下 沖 野  
 御休ノ上 御休ノ下 西澤見  
 外ノ目村ノ内字  
 三ツ塚山 前 村 後 村 前 田  
 平鹿端 五百刈 五庵澤

用水路ニ關スル事件ヲ議定セシムル爲メ前記各村及各字ヲ以テ水利土功會ノ區域ト定ム

○告示第十八號 明治廿二年三月八日  
 府縣會議員選舉規則第二十一條ニ依リ縣會議員投票用紙様式左ノ通り相定ム  
 用紙美濃紙四ツ切

秋田縣某郡

被選舉人

縣 會議員 投票

票 用 紙

右之通選舉候也

撰舉人

明治年 月 日

○乙第六十一號

明治十七年六月十九日

郡役所 戶長役場

町村會規則施行手續左ノ通り相心得此旨相違候事

參考明治二十二年法律第十一號ニ依リ存續スル水利土工會及學事會ニノミ之ヲ適用ス

町村會規則施行手續

- 一 會議ノ書記ハ可成郡吏 郡長管 筆生 戶長管 ノ内ヲ用井止ムヲ得サル場合ニ非サレハ他ヨリ雇入ルヘカラス但他ヨリ雇入タルキハ會議費ヨリ手當ヲ支辨スヘシ
- 一 會議ノ評決ハ渾テ認可ノ上之ヲ施行スヘキモノトス
- 一 前項ノ場合及ヒ指揮ヲ得テ施行スルキハ其旨町村内ニ公告スヘシ
- 一 議員撰舉會ノ投票用紙當撰狀及ヒ撰被撰人名簿ハ別紙書式ニ依ルヘシ
- 一 撰舉會ヲ公告スルキハ投票及開票ノ時限ヲ定メ併セテ之ヲ公告スヘシ
- 一 投票開緘ハ集會セル撰舉人ノ面前ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ出頭人無之キハ立會ヲ要セズ直ニ之ヲ開クヲ得



第一號

(未書)帳簿ハ半紙罫紙ヲ用ニ可シ被選舉人名簿モ亦タ同シ

町村會議員撰舉人名簿書式

何町村何番地

誰 何年何月生

本年何月何歲何ヶ月

士族 何

ノ

何町村何番地

誰 何年何月生

本年何月何歲何ヶ月

平民 何

ノ

第二號

町村會議員被撰舉人名簿書式

何町村何番地

誰 何年何月生

本年何月何歲何ヶ月

士族 何

ノ

地租金何圓何錢何厘

同町村何番地

誰 何年何月生

何年何月何歲何ヶ月

平民 何

ノ

第三號

(未書)投票用紙ハ半紙四ツ切リヲ用ユ

何(町)(村)議員選舉投票紙

何町村何番地

何ノ誰

(町)(村)會議員

(未書)但議員數名ヲ撰舉スル場合ニハ連名ニスヘシ

右選舉候事

何年何月何日

何町村何番地

何ノ誰實印

撰舉人

第四號

(未書)當撰狀用紙ハ大枹四ツ切

當撰狀



何ノ誰

何(町)(村)會議員ニ當撰候事

何年何月何日

何(町)(村)戸長役場

○乙第六拾八號

明治十七年六月廿四日

郡役所 町村戸長役場

町村會議事細則並ニ町村會議員心得別紙之通り相定候條此旨相達候事

但改正増補ヲ要スルトキハ會議ノ決ヲ以テ戸長ノ認可聯合會ハ郡ヲ受クヘシ長ノ認可

(參考)明治廿二年法律第十一號ニ據リ保續スル水利土工會及學事會ニノミ之ヲ適用ス

町村會議事細則

- 第一條 會議ノ時間ハ議長之ヲ定ム
- 第二條 議員ノ席次ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 議事中心ハ議員ノ姓名ヲ稱セス席次ノ番號ヲ用ユ可シ
- 第四條 發言セント欲スルモノハ議長某番ト呼ビ議長ノ呼ビ起スヲ待テ發言スヘシ
- 第五條 二人同時ニ發言スルヲ得ズ一議員發言中ハ他ノ議員ハ默聽スヘシ
- 第六條 一議案ニ對シテ再度論議スルヲ許サスト雖モ前議ヲ變スルカ又ハ論旨ヲ維持ス

ル爲メ弁明スルハ此限リニアラス

第七條 會議ハ三次會ヲ以テ決ス都合ニヨリ一回ノ審議ヲ以テ確定スルモ妨ケナシ

但議案ハ議長書記ヲシテ朗讀セシム

一次會 議案ノ説明及議案全体ノ可否

二次會 逐條議

三次會 確定議

第八條 議長ハ議事ノ都合ニ因リ議員ノ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルヲ得

第九條 建議ハ議長之ヲ議會ニ問ヒ其可決ヲ經テ議事ニ附スルモノトス

第十條 議事ノ都合ニ因リ會議ノ決定ヲ以テ內會議ヲ開クヲ得

但內會議ハ傍聽ヲ許サズ

第十一條 出席議員ハ可否ノ數ニ入ラサルヲ得ス

第十二條 議題ヲ廢棄スルノ精神ニアラスシテ動議數派ニ分レ共ニ過半数ヲ得サルキハ

再三議題トナシテ決ヲ取ルモノトス

第十三條 決議案ハ二通ヲ製シ一通ハ出席議員ノ捺印ヲ以テ之ヲ保存スヘシ

第十四條 議長ノ意見若クハ議員ノ請求ニ依リ議案又ハ修正議案建議案等ヲ審査セシメ

ントスルキハ委員ヲ設クルヲ得

但委員ハ議員中ヨリ議長之ヲ命シ又ハ議員ヲシテ互撰セシムルヲ得

町村會議員心得

一議員ハ初織或ハ袴ヲ着スヘシ



一議員ハ開議ノ期ニ先チ議場ニ上リ名刺ヲ以テ書記ニ告ケ扣處ニ待チ居ルヘシ  
 一議員ハ議長若席又ハ退席ノ際必ス禮式ヲ行フ可シ  
 一議員若席中ハ嚴肅ヲ要スヘシ決シテ左ノ舉動アルヘカラス  
 一談話私語スルヲ  
 一書類ヲ誦讀スルヲ  
 一猥リニ着席ヲ離ル、  
 一議事ノ議席ヲ退キ又ハ遲參ノ議員議席ニ着クキハ總テ議長ノ許可ヲ受クベシ  
 一病氣或ハ不得止事故アリテ欠席スルキハ當日開會前其事由ヲ議長ニ届出ヘシ  
 ○乙第六十二號 明治十七年十二月廿日 郡役所 町村戸長役場  
 町村會ノ評決ヲ不當ナリト認メ會法第四條ニ據リ指揮ヲ請フキハ事業其他トモ現時施行ノ振合併費用ノ多寡及施行者ノ目的等ヲ上申文中ニ記入シ尙ホ參照ノ爲メ左ノ書類添付伺出ツベシ此旨相達候事  
 (參考)同上  
 一原案并説明書及決議錄  
 一該會筆記  
 一不適當トスル費目ノ前年度中數月間ノ現費高  
 ○乙第五十二號 明治十八年四月廿五日 郡役所 町村戸長役場  
 町村費徵収科目中地價割又ハ反別割及議員旅費日當ノ儀自今左之通心得ヘシ此旨相達候事

但本文ニ抵觸スル從前ノ達指令ハ總テ廢止ス  
 (參考)同上  
 一地價割反別割ハ何レカ其一方ニ據ルヘシ假令ヒ其費途ヲ異ニスルモ之ヲ併課スルヲ得ス但町村會及水利土功會等ニ於テ甲村若クハ甲地ハ地價割乙村若クハ乙地ハ反別割ト爲スカ如キハ妨ケナシ  
 一議員旅費日當ハ町村會規則第二十五條及天災時變ノ爲メ滞在セサルヲ得サル場合ノ外ハ辨當又ハ賄料ト雖モ給スルヲ得ス  
 ○秋田縣達第九十九號 明治十九年九月十四日 郡役所 戸長役場  
 町村會聯合町村會若クハ水利土功會ノ管理者ニ於テ明治十七年第十四號布告區町村會法第四條ノ場合ハ遲クモ閉會後十日間ニ伺出ツヘシ  
 ○丙第二百十四號 明治十七年九月五日 各郡役所  
 本年乙第百十號達第二項聯合會議員ヲ出スヲ得サル町村ニハ聯合會諸費ヲ賦課スルヲ得サル等ニ付戸長役場ヘ達方可取計此旨相達候事  
 但議員ヲ出スヲ得サル町村ヘモ聯合會費ヲ賦課スヘキ豫算ヲ以テ已ニ議決シタル向モ候ハ、該町村ニ當ル金額ヲ議決ノ徵收方法ニヨリ更ニ聯合會ニ關スル町村ヨリ徵収スヘシ  
 ○丙第五十二號 明治十八年三月十四日 郡役所  
 町村會聯合町村會及水利土功會開會之節書記ヲシテ會議日誌ヲ編製セシム可キハ勿論ニ



候處或ハ編製セシメサルアリ或ハ編製セシムルモ其筆記要件ト明瞭チ欠ク者有之不都合ニ候條自今必ス會議日誌ヲ編製セシメ且ツ左ニ列記之件々ハ無漏明瞭ニ記載セシムル様其役所ヨリ郡内各戸長役場ヘ示達可致此旨相達候事

- 一開場閉場ノ年月日
- 一開場及退場ノ時刻
- 一當日出席議員ノ姓名
- 一當日出席議員ノ姓名及其事故
- 一議員ノ動議ヲ發スル者贊成ヲ表スル者アルモ其議員ノ席番及動議ノ要旨贊成ノ要點一可否決チ起立若クハ揚手ニ問フトキハ其起立者若クハ揚手議員ノ席番及其員數多數少數可決否決消滅

例ヘハ起立者若クハ揚手者何番何番都合何名多數ニ因テ可決(否決)或ハ少數ニ因テ減消ト記載スベシ

右ノ外議長ノ演說書記ノ議案朗讀番外ノ答弁ヨリ決議ノ順序方法等ニ至ル迄ノ要件

○丙第八十三號 明治十八年四月十七日 郡役所

町村通常會ハ七日以内臨時會ハ三日以内ト有之候所該會管理者ニ於テ會期ヲ減縮スルモノ往々有之不都合ニ候抑會期ノ義ハ七日三日之日數ニシテ該會期內ニ於テ議事ヲ結了スヘキ義ニ候條心得違無之様監督上注意スヘク此旨相達候事

○郡第二百四十二號 明治十九年七月二十六日 郡役所  
町村會議員ハ會法第十條ニ抵觸スル者ハ議員ノ資格ヲ失スルモノニ付平素右等之異動ニ

深ク注目シ失格者アル時ハ速ニ補充員ヲ撰擧セシメ常ニ定數ノ議員ヲ具ヘ置クベキ筈之所或ハ等閑ニ付シ急遽開會ヲ要スル場合ニ至リ差支チ生スル町村モ有之趣ニ付右等不都合無之様各戸長ヘ篤ト示達致スベシ右相達ス

○郡第七十七號 明治廿年三月十二日 各郡役所

縣令第廿六號ヲ以テ町村會規則第二十一條但書改正候處管理者ニ於テ撰擧區ヲ分ツニハ廣キニ失セズ狹キニ偏セサル様篤ク注意シ其人員ハ聯合區內總町村數ニ對スル五十八ニ比例シ撰擧區內町村數ニ應シ之ヲ定メ經伺ノ上施行ス可キ儀ト心得ベシ

右訓令ス

○郡第四百四十七號 明治廿年五月十一日 郡役所 戸長役場  
町村會若クハ聯合町村會ニ於テ原案外建議可決之次第ヲ以テ差出候場合管理者ハ該建議ニ對シ直チニ認可不認可之運ヒチ爲スモノ往々有之不都合ニ候條總テ建議ハ施行者ノ參考ニ止マル可キモノニ付其建議ニシテ至當ト認ムルモノハ更ニ原案ヲ下附シ決議ヲ得タル上認可不認可之運ヒチ爲ス可キモノト心得可シ

右訓令ス

○郡第十八號 明治廿一年一月十六日 郡役所 戸長役場  
本年縣令第一號寄付金發物件ニ付町村費收支豫算議案調製記載方左記之通心得ベシ

一寄付金ハ其指定シタル支出豫算相當費目ヘ朱書ヲ以テ内譯シ其收入豫算ハ雜收入ノ次



一寄付物件ハ號外議案トシテ適宜書式ヲ定メ發付スヘシ尤モ其指定シタル使用ノ廢ヲ明記スベシ

○郡第六十五號 明治廿一年三月五日

各郡長

來ル廿一年度以後町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ金穀物件ヲ寄附シタル者ノ賞與ハ該寄付金穀物件ニ付町村會ノ議決ヲ經タル上施行可致筋ニ有之ニ付該費ニ係ル寄附金穀物件ハ町村會ノ議決ヲ經タル上申請スル義ト心得ヘシ

右訓令ス

○郡第三百十六號

明治廿一年十一月七日

郡役所

町村ニ於テ負債償還又ハ第一救荒豫備補充等ノ爲メ町村會ノ決議ヲ經テ共有地賣却之義伺出候向往々有之共有ノ土地ハ基本財産ニシテ其町村ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルハ右財産ノ餘裕ヲ要スヘキハ論ヲ俟タサル義ニ有之然ルニ鎖々タル負債等ノ爲メ猥リニ賣却候テハ町村ノ經濟上ニ影響ヲ來スコト勘カラサル義ニ付篤ト將來ノ得失如何ヲ考量シ可成不動産ハ賣却セシメザル儘深ク注意致スヘシ

右訓令ス

○郡第八十號

明治廿二年三月二十八日

郡役所

明治十三年丙第四百四十八號ヲ以テ縣會議員當選者姓名屆書式相達置候處自今選舉錄相添左ノ書式ニ據リ報告スヘシ

右訓令ス

縣會議員當選者報告

何郡(町)(村) 大字何何番地  
(華)(士族) (誰何男)(兄)(弟)  
平民 何 某

一職業何  
一得點數何點  
一地租納額何圓

何ノ何年何月何日生

本年第何號告示ニ依リ縣會議員選舉候處前記ノ通り當選承諾届出候條選舉錄相添此段報告候也

明治何年何月 日

何郡長

何

某印

縣知事宛

第一類

第四縣稅付備荒儲蓄 賦金

○甲第六拾八號

明治十八年九月八日

地方稅中營業稅雜種稅取締別冊之通相定候條此旨布達候事

但明治十七年五月甲第二十四號布達ハ廢止ス

營業稅雜種稅取締規則

第一章 營業及轉廢業

第一條 營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中左ニ掲ケル業ヲ爲スモノハ各項ノ區別ニヨリ出願スヘシ

但本條ニ依リ認可スル指令ハ總テ所轄町村役場ヲ經テ本人ヘ下附スヘシ

廿一年縣令  
以三十二年  
改正

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄 賦金



廿七年縣令第  
七十八號追加

第一項 本廳へ出願スヘキモノ  
 會社、指場及梁川留漁業、牛乳搾取營業  
 第二項 警察署又ハ分署へ出願スヘキモノ  
 人寄席、演劇(定席外)、興行(全)  
 第三項 郡役所へ出願スヘキモノ  
 市場、遊覽所、湯屋、水車、屠畜、入會漁業(職遊)、鵜遣漁業、採藻、幫間、藝妓、遊藝稼人(婦女ニ限ル)、遊藝師(全)  
 第二條 前條ニ依リ出願スルモノハ第一號第二號書式(別ニ出願ノ書式等アルモノハ其書式ニヨル)ニ準シ願書ヲ製シ其町村戸長ノ與書ヲ受ケ差出スヘシ尤モ他府縣ヨリ寄留又ハ滞在等ニテ營業ヲ爲スモノハ身元引請人ヲ定メ連署ノ上願出ツヘシ  
 但第一條第一項第二項ニ掲グル種類ノ願書(演劇興行)ハ郡役所ヲ經テ差出スヘシ  
 第三條 第一條ニ掲グル種類ヲ除クノ外營業稅雜稅ヲ賦課スル各種ノ業ヲ爲スモノハ第三號書式ニ準シ(定席ニ於ケル演劇興行ハ第一號書式ヲ用フヘシ)願書ヲ製シ其町村戸長ノ與書ヲ受ケ所轄郡役所(定席ニ於ケル演劇興行ハ所管警察署又ハ分署)へ差出スヘシ尤モ他府縣ヨリ寄留又ハ滞在等ニテ營業ヲナスモノハ第二條ノ手續ニヨリ届出ヘシ  
 但別段ノ規則ニ依リ許可ヲ得タル營業者ハ其指令書ヲ副へ本條ノ手續ニ依リ届出ヘシ  
 第四條 市場許可外ノ場所ニ於テ市場ニ類似スル營業ヲナスヲ許サス  
 但神社佛堂等へ會シ境内路傍ニ於テ會スル緣日又ハ年ノ市ノ如キ類ハ本文ノ限りニ

十九年甲第  
五十四號第  
註テ入ル

アラス  
 第五條 營業者中甲乙兼業(旅館ニシテ料理屋ヲ兼ヌルノ類)ヲナスモノハ其種類ニ依リ第一條又ハ第三條ノ手續ニ從ヒ出願若クハ届出ヲナスヘシ  
 第六條 營業者中轉業(具服商ニシテ小問物商ニ轉スル)又ハ廢業移住等ヲナスモノハ其都度(行司アルモノ)田村役場ヲ經テ所轄郡役所へ届出ツヘシ尤モ行司ニ於テハ其届書ニヨリ帳簿ヲ加除シテ其事由ヲ記載シ置クヘシ  
 但廢業届出ノ節鑑札アルモノハ之ヲ返納スヘシ  
 第二章 課稅及免稅  
 第七條 新規營業ノ者及演劇興行ハ当期ノ稅金納濟ニアラサレハ開業スルトテ得ス  
 但船車ノ新規營業ハ其納期ニ於テ稅金ヲ徵收ス  
 第八條 演劇興行ハ開業中事故アリ廢業又ハ停止ノ處分ヲ受ケタルキハ納濟ノ稅金還付セスト雖モ木戸錢及棧敷土間庭等價格ノ増減ニ因リ稅金ニ過不足ヲ生スル分ニ限リ第四號書式ノ届書ヲ製シ閉場後三日(開業日數三日以下)前(停止ノ處分ヲ受)差引決算ヲナシ不足ハ追納シ過納ハ閉場後三日以内ニ還附ヲ乞フヘシ  
 但本條木戸錢及土間庭等價格ニ増減ヲ生スルキハ其都度町村役場ヲ經テ所轄郡役所へ届出ツヘシ  
 第九條 屠畜營業人ハ適宜上納帳ヲ製シ其屠殺ノ都度頭數及稅額ヲ記載シ之レニ稅金ヲ副へ町村役場へ差出シ領收ノ証印ヲ受クル後屠殺スヘシ  
 但稅金上納帳ハ其屠殺ノ時々臨監警察官ノ認印ヲ受クヘシ

十九年甲第  
五十四號第  
書追加ス



第十條 他府縣營業人ニシテ該本籍地方税ノ賦課ヲ受クル者ト雖モ本縣内ニ於テ寄留營業スルモノハ渾テ本則ニ據リ課税スヘシ

但該本籍免許ノ鑑札ヲ携帶スル行商及ヒ遊藝稼人俳優相撲等ノ類ニシテ一時滞在營業スルモノハ此限リニアラス

第十一條 各種營業人ニシテ旅行又ハ出稼ヲナスモ不在中税金納人ヲ定メ連署ヲ以テ(行司アルモノ)町村役場ヘ届出ヘシ

第十二條 營業金高書上等不肖ト見認ム可キ理由アリテ更訂ヲ命スルモ尙其命ニ應セサルモノアルモハ郡長ニ於テ適宜等級ヲ指定シ課税スルコトアルヘシ

第十三條 營業稅雜種稅ヲ納ムヘキモノニシテ罹災等ノ爲メ成規ニ依リ税金ノ免除ヲ受ケ又ハ延納ヲ乞ハントスルモノハ(行司アルモノハ行)其町村戸長ノ副書ヲ受ケ所轄郡役所ヘ願出ツヘシ

第十四條 營業稅雜種稅中營業金高又ハ其業体僅少ニシテ免稅ニ属スルモノハ第五號書式ニ據リ其町村戸長ノ副書ヲ受ケ(行司アルモノ)所轄郡役所ヘ願出ヘシ

第十五條 工業者ノ弟子見習等及漁業採藻ヲ營ムモノ、年齢ニヨリ免稅ニ属スルモノハ第六號書式ニ據リ町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第十六條 盲人ニシテ遊藝師匠遊藝稼人ノ業ヲシ免稅ニ属スルモノモ亦前條ノ手續ニ據ルヘシ

第三章 鑑札及看板

第十七條 營業稅雜種稅中ニテ左ニ掲グル各種ノ業ヲ營ムモノハ第七號雜形ノ鑑札ヲ附

十九年甲五  
十四號尤モ  
以下追加

與スヘシ尤モ工業及理髮人ノ抱入職工ハ本鑑札ノ外別ニ弟子見習ノ例ニヨリ記入シタル抱入鑑札ヲ附與スルモノトス

但別段鑑札ノ雜形アルモノハ此限リニアラス  
遊藝師匠、遊藝稼人、相撲、俳優、相問、藝妓、水車、乘馬、屠畜、工業(弟子見習)、理髮人(弟子見習)漁業、採藻、行商

第十八條 前條ノ種類ヲ除クノ外諸營業者(有稅無)ハ第八號雜形ノ標牌ヲ製シ所轄郡役所ヘ差出シ烙印ヲ受ケ之ヲ門前又ハ店頭ニ掲グヘシ

第十九條 鑑札ヲ紛失毀損シ又ハ水車乘馬ノ賣買讓與其他改名代替轉居轉業等ノモノハ其事由ヲ明記セシ書面ヲ其町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ差出シ鑑札ノ再渡又ハ書替ヲ乞フヘシ

但鑑札ノ書替ヲ乞フト雖モ郡役所ノ便宜ニ依リ最前ノ鑑札面朱書ヲ以テ訂正下付スルコトアルヘシ

第二十條 各種鑑札ハ其營業ニ從事中必ス携帶スヘシ  
但警察官及ヒ主任官吏又ハ郡吏戸長巡行巡查等ニ於テ該營業者ニ就キ鑑札ヲ點檢セントスルモ拒ムヲ得ス

第二十一條 入會漁業(職遊)及採藻ノ業ヲ爲スモノハ同業者ト雖モ互ニ鑑札ノ點檢ヲ求ムルモ其求メニ應スヘシ

但本條ノ場合ニ於テ鑑札ヲ携帶セサルモノアルモ本人ノ住所姓名及許可ノ有無ヲ聞知シ最寄警察署又ハ近傍町村役場或ハ巡行巡查ヘ申告スヘシ



第四章 帳簿及検査

- 第二十二條 營業稅中商業者ハ各種類(各種類トハ營業稅中會社卸賣小賣仲買)毎ニ區別シ左ノ項目ニ準シ帳簿ヲ製シ營業金高遺漏ナク記載シ置クヘシ
  - 一 總テ仕入タル物品名稱員數及其金員ヲ記入スヘキノ類
  - 一 總テ諸商人ヘ賣買貸付シタル物品名稱員數及其金員ヲ記入スヘキノ類
  - 一 日々賣捌タル物品名稱員數及ヒ金員ヲ一筆毎ニ記入スヘキノ類
  - 一 日々收入シタル金員物品等ヲ記入スヘキノ類
  - 一 但甲年ニ貸付タル金員及物品代價等ヲ乙年ニ收入シタルハ區分シ記載スヘシ
  - 一 諸物品ヲ需用者ヘ貸付シタル金額ヲ記入スヘキノ類
  - 一 諸物品ノ仕入代金ヲ各個ヘ渡シタルハ証印ヲ取ルヘキノ類
  - 一 各地其他ヨリ諸物品ヲ仕入タルハ其代價及ヒ物品等ヲ記シ受取証ニ交ユルヘキモノ、繰込類
  - 一 倉庫ヲ貸付シ米穀物品荷物等ヲ積入藏敷ヲ領収シタルハ其穀物ノ種類員數及ヒ物品ノ個數一個當リノ藏敷料ヲ記入スヘキノ類
  - 一 動不動産其他金穀物品荷物等賣買ノ紹介ヲナシ取扱タル金穀及ヒ其人名ヲ記入スヘキノ類
  - 一 宿泊人名賄ノ價額及ヒ客ノ求メニ應シ指出タル酒肴料等ヲ明細記入スヘキノ類
  - 一 仕出料理ノ受負人員及一人ニ對スル金額等ヲ記入スヘキノ類
  - 一 捕魚ノ収得金及該金額配當セシ人名等ヲ記載スヘキノ類

第二十三條 營業者ハ其營業ニ關スル前三年ノ諸帳簿ヲ保存シ置クヘシ

第二十四條 他府縣出店ヘ輸送及行商スル營業ノ物品ニシテ其賣上金高等本店本籍ニ於テ豫知シ難キモノハ出店又ハ行商先ヨリ每一ヶ月其賣上金高等ヲ報告セシメ本店本籍ノ帳簿ニ記入スヘシ

第二十五條 營業者ノ諸帳簿檢閱及劇場諸興行等収稅上監査ノ爲メ主任官吏又ハ郡吏戶長臨時出張スルコトアルヘシ尤モ出張官吏ニ於テ収稅上ニ付該營業者ニ尋問スルコトアルハ詳細事實ヲ申立ヘシ

但出張監査官ハ第九號ノ監査印章ヲ携帯セシムヘシ

第五章 組合及行司

第二十六條 營業稅中商業ニ屬スルモノハ營業上取締及其等級ヲ假定セシムルカ爲メ町村役場所轄限リ各種類(吳朝商又ハ小間)營業者毎ニ組合ヲ設ケ毎組二名以上五名以下ノ行司ヲ撰定スヘシ

但僻邑又ハ町村ノ狀態ニヨリ本條ニ據リ難キモノハ各種類ノ營業者合併シテ組合ヲ定ムルカ或ハ組合ヲ設ケサルモ差支ナシト雖トモ其場合ニ於テハ事情ヲ具シ町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第二十七條 行司ヲ撰定シタルトキハ組合二人以上ノ連署ヲ以テ其組合ノ業名及行司ノ族籍氏名等町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ届出ツヘシ郡役所ニ於テハ其撰舉ノ証トシテ第十號書式ノ當撰狀ヲ交付ス

第二十八條 行司ノ任期ハ滿三年トス任期中辭退スルモノアルトキハ速ニ補欠員ヲ選



二十年縣令  
第七十八號  
第一項ヲ刪除  
第二項ヲ刪除  
上ケ

舉スヘシ

但滿期改選ノ場合ニ於テハ前任者ヲ再選スルコトヲ得

第二十九條 行司任期中辭退スルトキハ組合營業者ヘ協議ヲ遂ケ該組合半數以上ノ承諾書ヲ徵シ其町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第三十條 組合營業者ニ於テ故ナク行司ヲ撰罷セサルカ又ハ當撰人故ナク承諾セサルトキハ郡長之ヲ特撰スルコトアルヘシ

第三十一條 行司ハ常ニ納税ニ關スル組合營業諸般ノ事ニ注意シ左ノ各項ヲ調理スヘシ  
但組合區域内ノ同業者ニテ脱税者アルカ又ハ取締規則ニ違犯スルモノアルトキハ其町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ申立ツヘシ

第一項 組合營業人ノ諸願申牒等ハ調査ノ上渾テ連署スヘシ

第二項 年度内ニ於テ組合營業者中其營業種類等ノ變更セシトキハ標牌面速ニ更正セシムヘシ

第三十二條 行司ハ毎年一月十日迄ニ組合營業者ヨリ前年(一月ヨリ)營業金高記載セシ第十二號届書ヲ差出サシメ之ヲ精密調査シ若シ其届出金額不當ト見認ムルモノハ各自ノ帳簿ニ就キ檢閲シ又ハ本人ニ諭示更正セシメ而シテ該届書ニヨリ別ニ第十三號書式ニ準シ等級假定表ヲ製シ同月二十日限り町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ差出スヘシ郡役所ニ於テハ時宜ニヨリ各營業者ヲ招集シテ等級ヲ評定セシムルヲアルヘシ

但組合ナキ各種營業ニシテ税率アルモノハ第十四號雜形ニヨリ取調毎年一月廿日限リ町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第三十三條 營業者書上金高組合同業中其權衡ヲ失シ行司ニ於テ更正ヲ諭示スルモ本人故ナク之ヲ拒ムモノハ行司之ニ意見ヲ付シ所轄町村役場ヲ經テ郡役所ヘ申出ツヘシ

第三十四條 行司ノ事務ニ關スル經費ハ給テ組合營業者ノ負擔トス

但本條金額ハ組合營業者ニ於テ協議決定ノ上所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第六章 罰例

第三十五條 本則第一條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十五條第十六條第十八條第二十條第二十一條(但書ヲ)第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條ニ違背スルモノハ違背罪ヲ以テ處罰セラルヘシ

第一號

何々營業(稼業)(設立)願

私儀

何年甲第何號御布達ニ依リ何々營業(稼業)(設立)仕度税金其他ノ儀トモ御規則之通遵守可仕候條御許可被成下度別紙(賣捌高)(貨付高)(上リ高)(取扱高)(見積金)(坪數)取調書相添此段奉願候也

(營業金高坪數等ニ依リ課税セサルモノハ別紙云々ノ數字ヲ除キ又社會市場(等)ノ設立スル方法アルモノハ其事由ヲ願書若シクハ副書ニ認メ差出スベシ)

年 月 日 何 郡 町 何 番 地 (寄留又ハ同居) 同 何 之 誰 印

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金



何業組合行司(行司ナキモノハ之ヲ除ク)

何 之 誰 印

何 郡 長 何 之 誰 殿

(本廳へ願出ル分ハ知事宛ニシ警察署又ハ分署へ願出ル分ハ各其署長宛ニスヘシ)

前書之通相違無之仍テ與印仕候也

何郡町村外何ヶ町村

戸長

何 之 誰 印

年 月 日

第一號ノ附屬

(坪數書上モ租ホ此例ニ倣ヒ記載スヘシ)

賣捌(貸付)(上リ)(取扱)高見積金書上

一 金 何 程

(凡各種類ニシテ卸小賣ノ區分アルモノハ其金額名稱ヲ内譯ニ列記スヘシ)

右者何年何月ヨリ一ヶ年間賣捌(貸付)(上リ)(取扱)高見積金書面之通相違無之候也

年 月 日

第二號

何々興行願

(何々トハ演劇相撲等ノ類ヲ云フ)

私 儀

(晴天ノ

開業

何郡何町村何番地ニ於テ別紙見積ヲ以テ來ル何月何日ヨリ何月何日マテ何日間  
ノモノハ來ル何日ヨリ何日マテ晴天ト記スヘシ) 興行仕度尤モ税金其他ノ儀トモ御規則ノ通遵守可仕俟條御許  
可被成下度此段奉願候也

年 月 日

何郡何番地(寄留)

何 之 誰 印

同

地主

何 之 誰 印

何警察(分)署長(警部補)何ノ誰殿

前書之通相違無之仍テ與印仕候也

何郡何町村外何ヶ町村

戸長

何 之 誰 印

年 月 日

第二號附屬

何々興行見積金書上

一 金 何 程

内譯

金 何 程

木戸大札一枚ニ付何程

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄

賦金



金 何 程  
 金 何 程  
 金 何 程  
 右之通相違無之尤モ興行中價格ノ増減ニヨリ見積金高ニ過不足相生候節ハ御規則之通差引精算可仕候也  
 年 月 日  
 第三號 (二葉宛差出スヘシ)  
 何々營業(稼業)御届  
 私儀  
 何年甲第何號御布達ニ依リ何々營業(稼業)仕候税金其他ノ儀トモ御規則之通遵守可仕候條別紙(賣捌高貸付高)見積金(坪數)取調書相添此段御届仕候也  
 (營業金高坪數等ニヨリ課稅セサルモノハ別紙云々ノ數字ヲ除クヘシ)  
 年 月 日  
 何郡何町何番地(寄留) 何 誰 印  
 同 何業組合行司(行司ナキモノ) 何 誰 印  
 前書之通相違無之仍テ與印仕候也 何郡長 何之 誰 殿

年 月 日  
 何郡何町外何ヶ町村 何 誰 印  
 戶長  
 第三號附屬 (坪數書上モ粗キ此ノ例ニ倣ヒ記載スヘシ)  
 賣捌(上リ)(取扱)高見積金書上  
 一 金 何 程  
 內譯  
 金 何 程 吳服太物賣捌高  
 金 何 程 小間物賣捌高  
 金 何 程 荒物賣捌高  
 金 何 程 五十集賣捌高  
 (此他數種ヲ兼ヌルモノハ詳細內譯スヘシ)  
 右ハ何年何月ヨリ一々年間賣捌(貸附)(上リ)(取扱)見積高書面之通相違無之候也  
 年 月 日 何 誰 印  
 第四號  
 見積金過(不足)精算御届  
 (采ぎ) 金 何 程 何月何日願濟先納税金  
 一 金 何 程 內

第一類 第四 縣稅 付備元金儲 賦金



(朱書) 金

何程 金何程

木戸大札壹枚ニ付何程  
木戸大札壹枚ニ付何程  
但何々ニヨリ何月日御届濟變更セシ價格  
差引金何程  
過(又ハ不足)

(以下各種ハ做之)

右ハ何月何日願濟之上興行(開業)仕候所何々ノ理由ニ依リ前書ノ通過(不足)相生候ニ付  
御還附被成下度(上納仕)候也

年 月 日 何郡何町村何番地(寄留) 誰印

何郡何町村外何ヶ町村 戸長

何之誰殿

第五號 (商業ノ外業休僅少ニシテ免稅ヲ出願スルモノモ粗ホ此ノ例ニヨリ記載スヘシ)  
賣捌(上リ)(取扱)(貸附)高寡少免稅願

私儀

何年甲第何號御布達ニヨリ營業仕候所賣捌(上リ)(取扱)(貸附)金高何圓以下ニ有之候ニ  
付御成規ニ依リ免稅被成下度此段奉願候也

年 月 日 何郡何町村何番地(寄留) 誰印

右組合行司(行司ナキモノハ之ヲ除ク)

何之誰印

前書之通相違無之依テ與印仕候也

何郡何町村外何ヶ町村

戸長

何之誰印

第六號

御 届

何年甲第何號御布達ニ依リ何々營業罷在候所本年何拾何歳何ヶ月ニ(十五歳未滿ノ)有之  
候條御成規ニ依リ免稅鑑札御下附被成下度此段御届仕候也

私(弟子見習)儀

何(十五歳未滿ノ)有之

何郡何町村何番地(寄留)

年 月 日

何之誰印  
右組合行司(行司ナキモノハ之ヲ除ク)

何郡長何之誰殿

第七號



離形 曲尺三寸三分

第何號

表 何々鑑札  
何縣何郡何町何番地  
何之誰  
(何年何ヶ月)

裏

年號月日  
秋田縣何郡役所  
印烙

第八號

曲尺二尺七外

明治何年度第何等郡役燒印

第何號

何々營業(免稅除稅)  
何縣何郡何町何番地  
何之誰

鑑札面記載例  
遊藝師匠遊藝稼人相撲俳優辯士藝妓水車屠畜ハ何營業ト記シ乘馬ハ自用又ハ營業ト  
工業漁業ハ何々工業漁業ト入會ハ鱸魚又ハ遊漁ト採藻ハ單ニ採藻ト記スヘシ又ハ營業ト  
ハ何業行商ト記スヘシ以上ノ種類ニテ免稅又ハ除稅ニ係ルモノハ何々免稅鑑札ト記  
スヘシ又弟子見習等ハ雇主何某弟子見習何ノ誰ト記シ年齡ニヨリ免稅ニ屬スルモノ  
ハ姓名ノ腹書ヘ年齡ヲ記入スヘシ

第九號

何々トハ鑿ヘハ(吳服太物)(古着)(古物)(小間物)(荒物)(五十集)(穀物)(金銀貨付)  
(料理屋)(質屋)等ノ類ヲ云フ

第何號

面表 地方稅監查印章  
秋田縣官  
姓 名

面裏

秋田縣

第何號

面表 地方稅監查印章  
秋田縣何郡書記  
姓 名

面裏

秋田縣  
何郡役所

第十號

當撰狀

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄

賦金

二百三十三

二百三十三



何々業組合行司 何之誰  
 右當撰ノ証トシテ之ヲ交附ス  
 年月日  
 何郡役所  
 印

第十一號 (每一ヶ月分モ同シ)

何年度第何期何月ヨリ何月マテ組合諸營業人別表

業名	種目	金額	員	現在等級	郡町村名	人名
何々商業	仕入金	何	何			
	賣捌金	何	何			
	仕入金	何	何			
	取扱金	何	何			

計金	上り高	何	圓	貸付高	何	圓

右ハ本年何月ヨリ何月マテ(賣捌貸付取扱上り)高相違無之仍テ御届仕候也  
 何郡何町何番地何業組合行司 誰印  
 年月日 何郡長何之誰殿  
 前書之通相違無之仍テ與印仕候也

何郡何町外何ヶ町村 誰印  
 戸長 何之誰印  
 年月日

第十二號  
 何々營業(取扱)(賣捌)(貸付)(上り)高御届  
 一金何程 内譯  
 金何程 吳服大物賣捌高  
 金何程 小間物賣捌高



金何程		荒物賣捌高	
金何程		五十集賣捌高	
(此他數種ヲ兼ヌルモノハ詳細内譯スヘシ)			
右ハ明治何年一月ヨリ十二月ヲ實際(取扱)(賣捌)(貸付)(上リ)高帳簿ニ就キ取調候所書面之通聊カ相違無之候條此段御届仕候也			
年	月	日	何郡何町村何番地
			同
			何業組合行司
			何之誰印
前書之通相違無之仍テ與印仕候也			
			何郡長何之誰殿
			何郡町村外何ヶ町村
			戸長
			何之誰印
第十三號	年	月	日
等級假定表			
商業			

見込等級	業類	前一ヶ年 <sup>賣捌</sup> 上 <sup>取扱</sup> 高 <sup>貸付</sup> 前々年 <sup>賣捌</sup> 上 <sup>取扱</sup> 高	郡町村名	人
何々等	何々商業	金何圓	何百圓以上	何郡何町村
前書之通組合營業者等級假定調製進達仕候也				
				何郡何町村何番地(寄留)
				何營業組合行司
				何之誰印
				何郡長何之誰殿
				何郡何町村外何ヶ町村
				戸長
				何之誰印
第十四號	年	月	日	
何々(料理屋飲食店)營業(工業)御届				
(湯屋理髮人)				
一客間				何坪
一湯壺				何坪
一抱入職工				(弟子見習等ハ内)何人
				(譯ニ區別スヘシ)

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金 二百三十七



(外各種モ此例ニ倣ヘ)

右ハ明治何年一月一日現在書面之通相違無之候條此段御届仕候也

年 月 日

何郡何町村何番地

何郡長 何之 誰 殿

何 之 誰 印

前書之通相違無之仍テ與印仕候也

何郡何町村外何ヶ町村

年 月 日

戸長

○甲第六拾九號

明治十八年九月八日

何 之 誰 印

地方税中地租割戸數割規則別冊之通相定候條此旨布達候事

地租割戸數割規則

第一章 地租割

第一條 地租割ハ前期初日現在ノ地租額ニ據ルヘシト雖トモ前收ナルヲ以テ依リニ前期

(四月ノ豫算ハ前年十月一日)ノ租額ニヨリ徵收スル者トス故ニ其期日(該年四月一日)

(十月ノ豫算ハ該年四月一日)ノ租額ニヨリ徵收スル者トス故ニ其期日(該年十月一日)

ニ至リ増減ヲ生スルトキハ差引決算ヲナスヘシ

第二條 凶荒罹災等ノ爲メ成規ニ依リ地租割ノ免除ヲ受ケ又ハ延納ヲ乞ハントスルモノ

ハ其町村役場ヲ經テ所轄郡役所ヘ願出ツヘシ

第二章 戸數割

明治十九年七月  
第十五號  
改正

同上

第三條 戸數割ハ每期初日現在等級ニ據ルヘシト雖トモ前收ナルヲ以テ依リニ前期(前年十月一日)ノ等級ニヨリ徵收スルモノトス故ニ其期日ニ至リ個數ノ増減ニ依リ等級ニ變更ヲ生スルトキハ差引決算ヲナスヘシ

第四條 罹災等ノ爲メ成規ニヨリ戸數割ノ免除ヲ受ケ又ハ延納ヲ乞ハントスルモノハ總テ第二條ノ手續ニヨルヘシ

第五條 極貧ニシテ戸數割(十等戸)ノ免除ヲ受ケ又ハ延納ヲ乞ハントスルモノハ親戚若シハ隣保二名以上ノ連署ヲ以テ其町村戸長ノ副書ヲ得所轄郡役所ヘ願出ヘツシ

第六條 凡ソ現住一戸ヲナスモノハ宅地ノ地價(官地拜借ハ隣地ニ比較)建物ノ坪數雇人ノ員數等ニ

増減アル毎ニ各種ヲ區別シ其町村役場ヘ願出ツヘシ

第七條 新ニ家屋ヲ建築シ又ハ從來ノ建物ニ増減ヲ生スルトキハ別紙畧圖面ヲ製シ所轄町村役場ヘ届出ツヘシ

第三章 罰例

第八條 本則第六條第七條ニ違背スルモノハ違警罪ヲ以テ處罰セラレヘシ

一 何坪 家屋建築(増)坪數御届

右者今般家屋建築又ハ從來ノ家屋建物ニ増減ヲ生候ニ付別紙畧圖面相添此段及御届候也

年 月 日

何郡何町村何番地

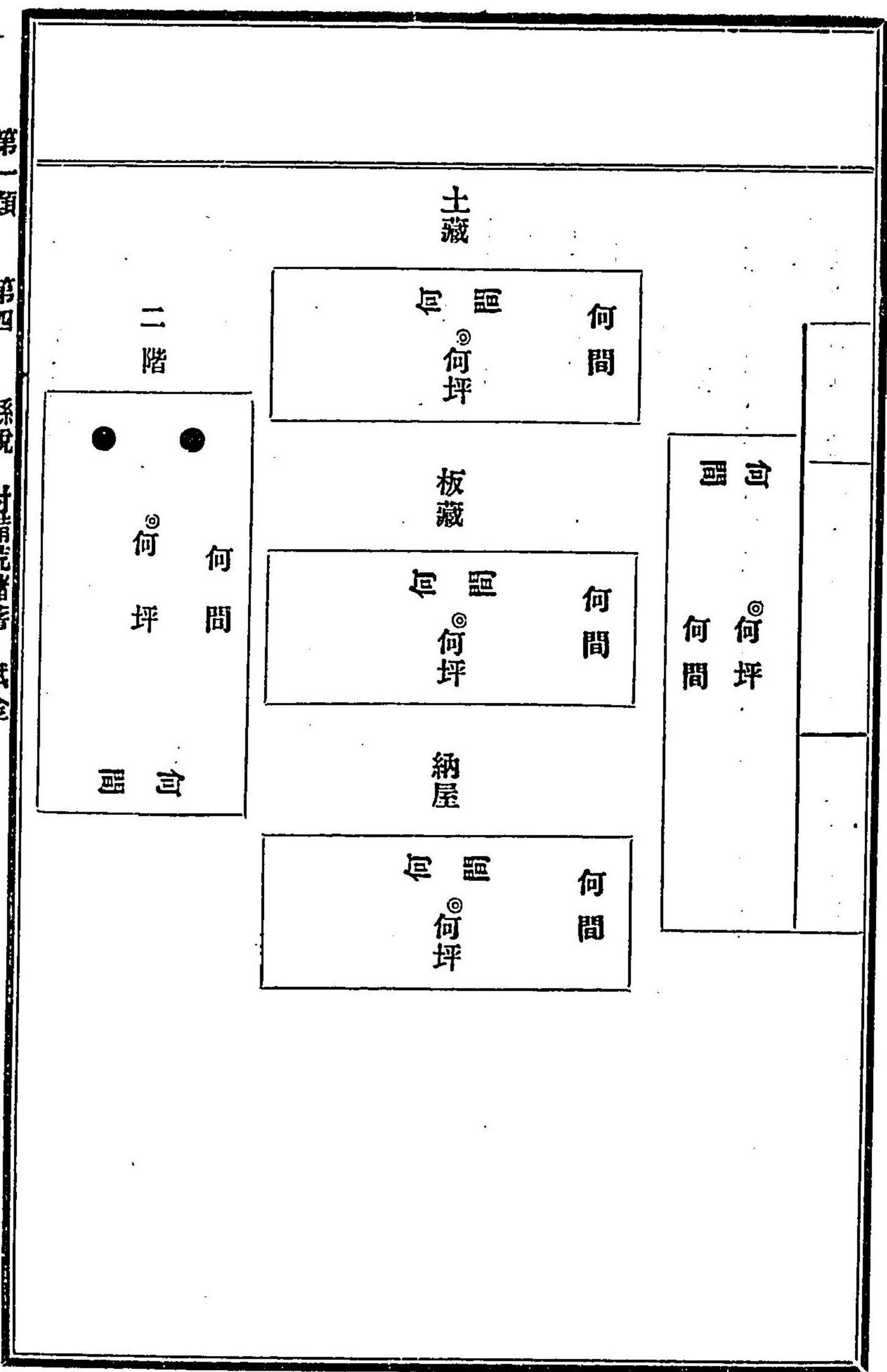
何 之 誰 印

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

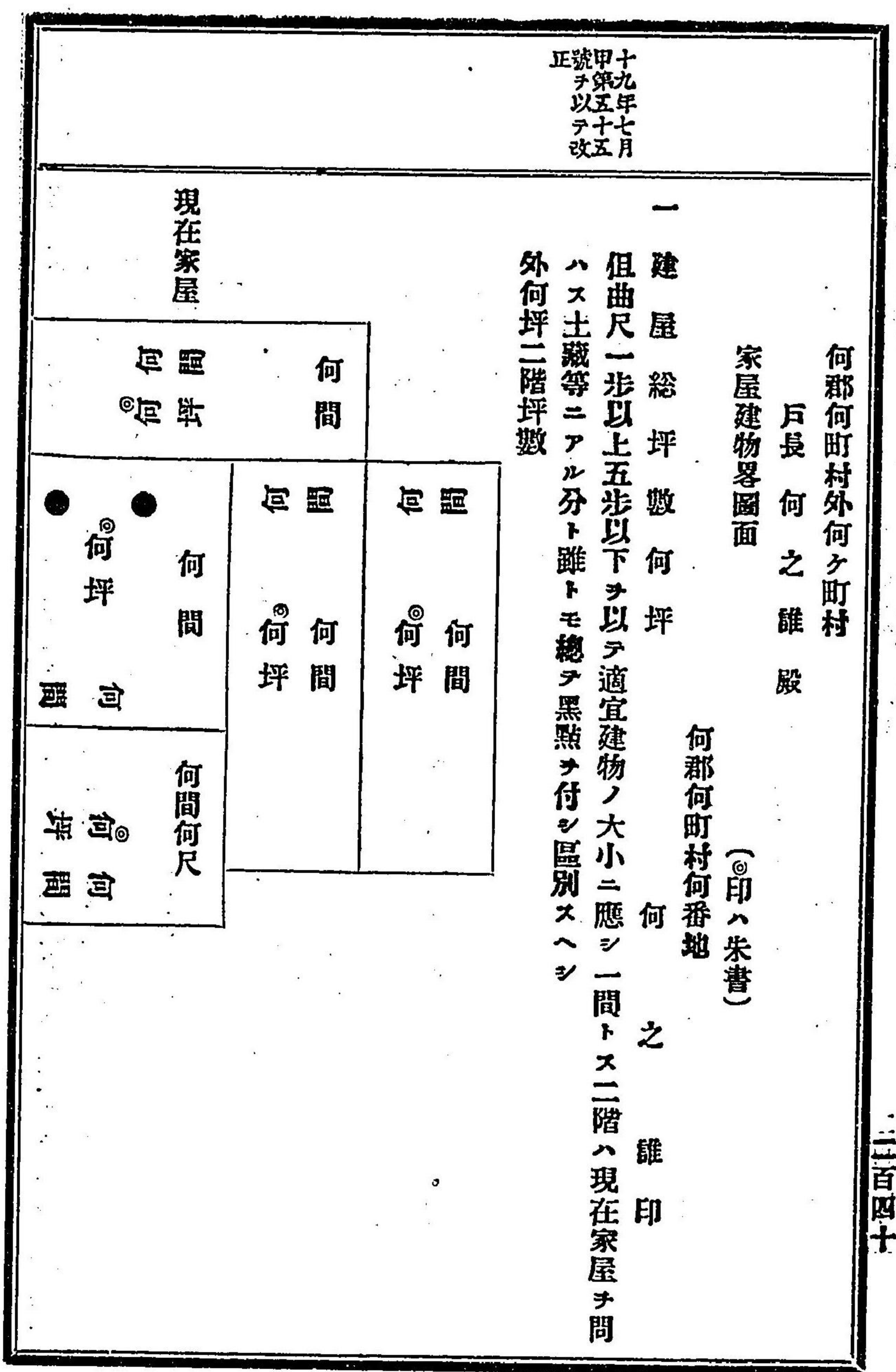


第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

二百四十一



正號甲十九年七月  
ヲ以テ十五  
改



何郡何町村外何ヶ町村  
戸長 何之 誰 殿  
家屋建物畧圖面  
(印ハ朱書)  
何郡何町村何番地  
一 建屋 総坪數 何坪  
但曲尺一步以上五步以下ヲ以テ適宜建物ノ大小ニ應シ一問トス二階ハ現在家屋ヲ問  
ハス土藏等ニアル分ト雖トモ總テ黒點ヲ付シ區別スヘシ  
外何坪二階坪數  
之 誰 印

二百四十



○秋田縣令第二十九號 明治十九年十二月廿一日  
本年二月二十號布達地方稅徵收期限明治二十年度分ヨリ左ノ通改正施行ス

地方稅徵收期限

第一條 地租割戶數割營業稅雜種稅ノ内第二三條ニ掲クル種目ヲ除クノ外ハ左ノ期限ニ於テ徵收ス

第一期 稅額ノ五分 前年度三月十五日ヨリ同卅一日迄

第二期 稅額ノ五分 該年度九月十五日ヨリ同三十日迄

第二條 雜種稅ノ内船車稅ハ左ノ期限ニ於テ徵收ス

第一期 稅額ノ五分 該年度七月一日ヨリ同三十一日迄

第二期 稅額ノ五分 同一月四日ヨリ同三十一日迄

第三條 雜種稅ノ内演劇興行屠畜日限市場稅ハ其時々期間藝妓稅ハ每月五日迄ニ徵收ス

○秋田縣令第六號 明治二十年二月二日

明治十七年甲第三拾九號布達備荒儲蓄法施行規則縣會之決議ヲ經内務大藏兩大臣ノ許可ヲ得別紙之通收定ス

備荒儲蓄法施行規則

第一章 徵收

第一條 公儲金ハ二期ニ分チ第一期ハ四月一日第二期ハ十月一日現在ノ地租額ニ據リ徵收ス

但公儲金徵收了リタル後地租ニ増減チ生スルコトアルモ追徵又ハ返還セズ

二十二年三月十二日  
縣令第二十  
號第十  
三號第十  
二號第十  
入市役所ト補

第二條 公儲金徵收ニ際シ罹災ノ爲ヒ第十條乃至第十四條第十六條ニヨリ儲蓄金ヨリ給與若クハ補助ヲ受ケ公儲金ヲ徵收スル能ハサルモノニ限リ該年ノ公儲金ヲ免除ス

第三條 公儲金不納又ハ免除等ヨリ豫算ニ欠額チ生スルモ政府配付金ヨリ不足セサルトキハ之ヲ補充セズ

第二章 儲蓄

第四條 儲蓄金ハ其年度ニ於テ支出スヘキ給與補助并諸費ノ豫算額ヲ現金トシ其餘ハ公債証書及米穀ヲ購入スルモノトス

前項豫算金ニ若シ不足チ生シタルトキハ公債証書又ハ米穀ヲ賣却スルコトアルヘシ故ニ之レヨリ生スル損益金ハ儲蓄金ノ損益トス儲蓄公債証書落籤等ニテ臨時ノ収金アルトキハ公債証書ヲ購入スルモノトス

第五條 公債証書米穀ノ購入及賣却ハ一般ノ入札法ニ依ルモノトス

但入札法施行シ難シト認ムルトキハ臨時所分スルコトヲ得

第六條 罹災救助金豫算ノ内別表ノ如ク各郡役所市役所ニ分儲シ救急ニ充ツ尤モ支出ノ都度費証書添付縣廳ヘ請求シ補填シ置クモノトス

但本條金員ハ臨時檢査スルコトアルヘシ

第三章 管守

第七條 公債証書及ヒ米穀ハ縣廳ニ於テ之ヲ管理スルモノトス

第八條 備荒儲蓄金ハ第六條都市分儲ノ金額ヲ除去シ殘金ハ一般官金預ケ方ノ例規ニ據リ縣廳爲替方ヘ保護預リトナスヘシ



第九條

郡市分儲金ハ郡長市長ニ於テ其役所金錢取扱ノ例規ニ依リ之ヲ主管スヘシ

第四章

給與補助

第十條 罹災ノ爲メ家産ヲ亡失シ若シハ流行病ノ爲メ自ラ生存スル能ハサル窮民ニ限リ日數二十日以内左ノ割合ニ依リ其市町村前月下米相場ヲ以テ(相場立無之所ハ最寄)食料ヲ給シ尙ホ保藏シ能ハスシテ食料ヲ請フモノアルトキハ實況ヲ審査シテ之レヲ給シ前後通シテ日數三十日ニ止ム

男一人 一日玄米四合  
女一人 一日玄米三合

但年齢七十年以上十五年未満ハ男女ヲ問ハズ玄米三合トス

第十一條 罹災ノ爲メ家屋ヲ亡失シ又ハ潰倒シ自ラ小屋掛ヲナシ又ハ他ノ家屋ヲ借り得サル窮民ニ限リ左ノ(亡失シタルモノハ第一項)潰倒シタルモノハ第二項)割合ヲ以テ小屋掛料ヲ給ス

第一項

一家六人以上ノ者 一戸金拾圓以内  
一家三人以上ノ者 全 金八圓以内  
一家二人以下ノ者 全 金六圓以内

第二項

一家六人以上ノ者 一戸金五圓以内  
一家三人以上ノ者 全 金四圓以内

一家二人以下ノ者 全 金三圓以内

第十二條 罹災ノ爲メ農具ヲ亡失シ自ラ之ヲ購フ能ハサル窮民ニ限リ左ノ割合ヲ以テ農具料ヲ給ス

但農ヲ本業トセサルモノハ此限ニアラス

自作耕地 所有耕地及 壹町歩以上ヲ耕ス者 一戸金拾五圓以内

全 自作耕地 ヒ小作地共 壹町歩未満ヲ耕ス者 全 金拾圓以内

全 五反歩未満ヲ耕ス者 全 金七圓以内

第十三條 罹災ノ爲メ種穀ヲ亡失シ自ラ之レヲ購フ能ハサル窮民ニ限リ左ノ割合ヲ以テ種穀料ヲ給ス

但農ヲ本業トセサルモノハ此限ニアラス

自作耕地 所有耕地及 一町歩以上ヲ耕ス者 一戸金五圓以内

全 自作耕地 ヒ小作地共 一町歩未満ヲ耕ス者 全 金三圓五拾錢以内

全 五反歩未満ヲ耕ス者 全 金貳圓以内

第十四條 戸數五十戸以上一時ニ暴災ニ罹リ目下食ヲ得ルニ由ナキ場合ハ日數十日以内臨時炊飯ヲ與ヘ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ其米額ハ本章第十條ノ制限ニヨル

炊飯ヲ受ケタルモノ、内炊飯ヲ止メタル當日ヨリ五日以内及炊飯給與中更ニ食料ヲ請フモノアルトキハ第十條ニ照シ支給スヘシ最モ前後通シテ日數三十日ニ止ム臨時炊飯ヲ給スル場合ニ於テハ(借家並ニ同)一時身ヲ寄スヘキ小屋掛ヲ營ミ又ハ借家ヲナシ其場ノ急ヲ救フコトアルヘシ而シテ尙ホ小屋掛料ヲ請フモノアルトキハ第十一條ニ據リ



處分スヘシ

第十五條 第十條乃至第十四條(一項ヲ)ノ救與ヲ請ハントスルモノハ其實況ヲ具シ市長又ハ町村長ニ申立ツヘシ市長町村長ハ災害ノ輕重及身元ノ狀況ヲ詳查シ町村長ハ之レニ意見ヲ付シ郡長ニ差出シ郡長市長ニ於テ救助スヘキモノト認ムルトキハ速ニ救與ヲナシ其旨ヲ縣廳ニ報告スヘシ

但第十條乃至第十三條ニ該當スルモ罹災後十日以内ニ願出サルモノハ之ヲ給與セス第十六條 罹災ノ爲メ土地家屋ノ全部又ハ幾部ヲ賣却スルニアラサレハ地租ノ全額若シクハ幾分ヲ納ムル能ハサル窮民ニハ其全額又ハ幾分ヲ補助スヘシ

但耕地ノ地租ヲ補助スルハ主作物採取前損亡シタルモノニ限ル第十七條 前條ノ補助ヲ請ハントスルモノハ其罹災ノ實況ヲ詳記シタル知事宛ノ願書ヲ市長又ハ町村長ニ差出スヘシ市長町村長ハ被害ノ狀況ヲ詳查シ町村長ハ之レニ意見ヲ付シ郡長ニ差出シ郡長市長ニ於テハ其意見ヲ付シ縣廳ニ差出スヘシ

但罹災後十日以内ニ願出サルモノハ之ヲ補助セス第十八條 縣廳ニ於テハ前條ノ書面ヲ密案シ時宜ニ依リ吏員ヲ派遣シ實地ヲ點檢セシメ確實ナリト認ムルトキハ之レヲ補助スヘシ

第五章 雜則

第十九條 本則ハ自今改正ノ必要ナキ間ハ連年據置クモノトス  
 罹災救助金各郡分儲表  
 一金千八百五拾圓  
 分儲金高

二十二年二月三號令第十號ヲ以テ更

二十二年二月三號令第十號ヲ以テ更

二十二年二月三號令第十號ヲ以テ更

全上

大郡	金貳百圓	南秋田郡 仙北郡 由利郡 北秋田郡 山本郡 平鹿郡 雄勝郡
小郡	金百五拾圓	河邊郡 鹿角郡
市	金百五拾圓	秋田市

○秋田縣令第八號 明治二十年二月四日  
 備荒儲蓄公儲金徵收期限ノ義ハ明治二十年度ヨリ左ノ通相定ム  
 第一期分 四月十五日ヨリ 第二期分 十月十五日ヨリ  
 第三期分 三月三十日マテ 第四期分 三月三十日マテ  
 ○秋田縣令第四十號 明治廿二年三月廿九日  
 賦金徵收規則別紙ノ通り相定明治二十二年四月一日ヨリ施行ス  
 但本年三月秋田縣令第二十三號貸坐敷娼妓取締規則中第十條第十一條第三十九條ハ之ヲ削除ス

賦金徵收規則  
 第一條 貸坐敷又ハ娼妓營業ノ免許ヲ受ケタル者ハ賦金トシテ毎月一日ノ現在ニ依リ其月五日限リ左ノ金額ヲ徵收スヘシ但新メニ免許ヲ受ケタルモノハ其時々該月分ヲ徵收ス  
 貸坐敷(寄留娼妓一戸ニ付) 賦金壹圓  
 娼妓(上等湯代金五拾錢以上) 賦金壹圓五拾錢  
 (下等湯代金五拾錢未滿) 同 壹圓貳拾錢  
 第二條 賦金ヲ徵收スルニハ市ニ於テハ本廳ヨリ町村ニ於テハ郡役所ヨリ第一號書式ニ

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金 二百四十七



依り徴收令書ヲ各納人へ發付ス

徴收令書ハ前月廿五日迄ニ之ヲ發付スヘシ

第三條 各納人ニ於テ徴收令書ヲ受タルトキハ該令書ニ接續シタル上納書へ第一例ノ如ク記載押印シ之ニ現金ヲ添ヘ市ハ本廳町村ハ郡役所ノ爲換方へ預ケ入レ第二例ノ如ク預リノ証印ヲ得テ之ヲ本廳又ハ郡役所へ納付スヘシ

第四條 本廳又ハ郡役所ニ於テ賦金ヲ領收シタルトキハ徴收令書ト上納書ト接續ノ處へ割印シタル上之ヲ切離シ該令書ニ第三例ノ如ク記入シ之ヲ納人ニ下付シ以テ徴收令書ノ証トス

第五條 毎月一日ノ現在ニ依リ徴收令書ノ金額ニ對シ増域ヲ生シタルトキハ其令書ノ訂正ヲ請求シテ後上納ヲナスヘシ

第六條 貸坐敷娼妓ハ便宜ニ依リ豫メ一區域貨坐敷ニ於テ一人又ハ數人ノ賦金上納代理人ヲ定置クコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ徴收令書ヲ直ニ其代理人ニ發付スルヲ以テ豫テ代理人ノ住所番地姓名等ヲ記載シタル書面ヲ本廳又ハ郡役所へ差出スヘシ

第七條 賦金ヲ不納スルトキハ其營業ヲ停止シ若クハ禁止スヘシ

第八條 娼妓休業全月ニ及フトキハ該月分ノ賦金ヲ免除スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ之ニ賦課シタル貸坐敷ノ賦金モ亦免除ス

第九條 娼妓失踪シタルトキハ屆濟ノ翌月ヨリ之ニ賦課シタル貸坐敷ノ賦金ヲ免除スヘシ

第十條 營業停止ノ處分ヲ受ケタルモノ不納ノ賦金ヲ追納セント欲スルトキハ本廳又ハ郡役所へ申出ツヘシ

第十條 娼妓休業全月ニ及ヒタル爲メ既ニ徴收セル賦金ノ下戻ヲ要スルトキハ第二號書式ニ依リ請求書ヲ以テ本廳又ハ郡役所へ請求スヘシ

第一號 (印ハ朱書)

二十二年 第五十九號 令 徴收令書 改 事 知 事 下 改 ム 九	
<p>徴收令書</p> <p>第何號</p> <p>明治何年度何月分(貸坐敷)賦金</p> <p>納期同月五日期 何市(町)(村)</p> <p>知事 誰</p> <p>郡長 誰</p> <p>金 何程</p> <p>代理人 誰</p> <p>右可相納候也明治何年何月何日領收</p> <p>秋田縣知事何某 印</p> <p>秋田縣何郡長何某 印</p>	<p>上納書</p> <p>第何號</p> <p>明治何年度何月分(貸坐敷)賦金</p> <p>第三例 第二例</p> <p>第一例 爲替方</p> <p>第二例 爲替方</p> <p>第三例 爲替方</p> <p>右何月何日爲替方へ相預ケ上納候也</p> <p>何市(町)(村) 第一例 誰 印</p> <p>代理人 誰 印</p> <p>明治何年何月何日(何)ノ 誰 印</p>

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金



一金 何程

是ハ休業(娼妓休業)全月ニ及ヒ候ニ付該月賦金免除ノ分  
右御還付被成下度候也

何市(町)(村)

娼妓(貸坐敷)營業

明治何年何月何日

代理人

何

ノ

誰印

知事(郡長)宛

○乙第五十四號

明治十五年五月三十一日

郡役所 町村役場

明治十一年乙第九十番ヲ以テ諸稅其他未納ノモノ取扱方ノ儀相違置候所更ニ別冊之通改  
正候條此旨相違候事

但備荒儲蓄金及町村若クハ水利土功ノ集會ニ於テ評決シタル土木費ノ不納モ亦此手  
續ニ依リ處分スヘシ

不納者處分手續

第一條 徵收期限ヲ過キ國稅地方ヲ上納セサルモノハ直ニ戶長ニ於テ明治十二年十一月  
二十七日乙第百十三號達ニヨリ備アル收入簿ニ就キ不納種目及ヒ人名取調第一號書  
式ニ依リ郡役所へ届出ヘシ

正四十六年乙第  
十一號改

第二條 前條ノ手續ヲ終フル後尙戶長ニ於テ直チニ不納人員ニ就キ財産取調第二號書式  
ニ順シ郡役所へ届出ヘシ

第三條 財産取調ノ爲戶長ニ於テ現場ニ臨ムノ際本人若クハ家族(老幼ニテ事理不  
會ヲ要スヘシ若シ不在ナレハ他ノ親族又ハ隣保ノモノヲシテ立會ハシムヘシ)

但土地ニ對シテハ本人立會ヲ要スルニ及ハス

第四條 前條取調ノ際立會ヲ肯セザレハ所管警察署若クハ分署へ申出巡查ノ立會ヲ求  
メ取調ノ末第二號書式文中へ其旨記載スヘシ

第五條 第二號ノ届書ヲ郡役所ニ於テ受取タルキハ公賣ノ事ヲ第三號書式ニ倣ヒ其町村  
役場並所轄内輻湊ノ土地へ十日間揭示スヘシ

第六條 財産ヲ指定メサル地方稅ヲ不納スルキハ土地家屋ヲ除クノ外財産(兩戶ヲ除キ  
戶等都テ動移スヘキモノ及ヒ營業稅雜種稅ヲ賦課シタル物品ト)公賣ニスヘシト雖モ  
其營業必用ノ器械衣服炊具食料等民事身代限リノ例ニ倣ヒ差除クヘシ

第七條 賦課ノ財産中若シ成規ニ據リ質入ノ公証アル地所ハ戶長ヨリ速ニ債主へ通達  
スヘシ

第八條 營業稅及造石稅ヲ不納シ其營業ヲ停止スルキハ其旨本廳へ届出ツヘシ

第九條 郡役所ハ公賣ノ開緘ヲ投票人ノ面前ニ於テシ落札人名ヲ其町村役場ニ達シ納金  
セシムルモノトス

但價格不當ト認ムレハ郡長更ニ投票セシムル事アルヘシ

第十條 戶長役場ハ前條達ニヨリ落札人へ達シ納金セシメ現場ニ立會其物品ヲ引渡シ該



金ヲ郡役所ニ納附スル者トス若シ公賣ニ係ル入費アレハ領收證ニ請求書ヲ添ヘ申立ヘシ

第十一條 納期中他ノ負債上ヨリ身代限り處分ニ係ルモノ有之納期ヲ經過セサルモ戸長ニ於テ税目限り未納金員取調郡役所ヘ申出ヘシ郡役所ニ於テハ裁判官ニ照會シ成規ノ通公賣處分スヘシ

但後納ノモノハ納期前ト雖モ本條ニ依テ徵收スヘシ

第十二條 公賣處分ハ遲クモ納期後三十日以内ニ結了スヘシ

第十三條 財産ヲ公賣スルモ納税ニ不足ヲ生スルカ又ハ財産望人無之完納ニ至ラサルハ處分後直チニ郡長ヨリ本廳ヘ申稟スヘシ

但地方税ハ皆濟報告ノ節届出ヘシ

第十四條 若シ前條々ノ年續ニ難據情狀有之節ハ其事由ヲ詳述シ直チニ本廳ヘ伺出ヘシ

第一號

不納税目及ヒ人名取調書

金	圓	税	目	村名	番地	人	名
金	何	程	何	何	何	何	何
金	何	程	何	何	何	何	何
金	何	程	何	何	何	何	何

右之通不納有之ニ付此段御届仕候也

年 月 日 郡長 宛

戸長

何ノ 誰

第二號

何々税不納ニ付財産調

何郡何町何番地 籍職業

何

何程

誰

一何々

一何々

一何々

右ハ何々税何月何日納ノ分不納ニ付何年乙第何號達ノ手續ニヨリ所持ノ財産取調候所書面ノ通相違無之候條此段御届仕候也

戸長

何

何

某

第三號

揭示案

何郡何町何番地 籍職業

何

何程

誰

一何々土地ハ町村字番號反別地價ヲ記載ス

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄

賦金



何程

何程

一々々  
右ハ何々税不納ニ付財産公賣致シ何月何日午前第何時開票候條望ノ者ハ同刻マテ當郡役所へ入札可差出モノ也  
但入札不當ト認ムル節ハ取消又ハ更ニ投票セシムヘキ事

年 月 日 何 郡 役 所

○乙第六十六號 明治十八年五月三十日 郡役所 町村戸長役場

本年第十號第十一號布告相成候ニ付テハ醬油製造營業及菓子營業者へハ十八年度ヨリ地方税ヲ賦課スルヲ得サル儀ニ候條此旨相違候事

○乙第一百號 明治十八年九月八日 郡役所 町村戸長役場

地方税取扱手續別冊之通相定候條此旨相違候事

但本條ニ抵觸スル指令達ハ總テ廢止ス

地方税取扱手續

第一章 總則

第一條 地方税ハ一周年度ヲ二期ニ分テ每期ノ税額ヲ徵收スヘシ

第二條 地方税ハ毎年本縣布達ノ税額ニ據リ郡役所ニ於テ之ヲ郡内ニ賦課スルモノトス

第三條 地方税ヲ各自ニ賦課スルニ際シ其税額ニ端數ヲ生スルモノハ總テ四捨五入シテ厘位ニ止メ徵收ス可シ

但年税ノモノニシテ毎期五毛ツ、ノ端數ヲ生スルキハ前期ニ繰上テ徵收スヘシ

明治十九年  
第十八號  
第二條

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

第四條 地方税ヲ賦課シタル後其期限ヲ過キ尙ホ納税セサルモノアルキハ町村役場ニ於テ一人別未納金額及賦課ノ財産ヲ取調所轄郡役所へ届出同所ニ於テハ直ニ該財産公賣ノ處分ヲ爲スヘシ

但營業稅雜種稅ノ未納ヲ處分シ其税金ニ損失ヲ生シタルモノハ再ヒ營業ヲ願出ルキニ當リ先ノ未納金ヲ完納セシムヘシ

第五條 地方税不納ニ付賦課ノ財産ヲ公賣ニ付シ落札代金徵收シタルトキハ第一號書式ニ準シ取調其都度之ヲ報告スヘシ

第六條 前條ニ依リ財産ヲ公賣ニ付スルモ望人無之等ニ付官沒ノ處分ヲ爲シ税金損失ニ歸スルモノハ第二號書式アリ勘定除却ニ係ルモノハ第三號書式ニ準シ取調其都度之ヲ開申スヘシ

第七條 事故アリ納期后三十日以内結了シ難キモノハ其事由并ニ大科目限リ金額ヲ掲ケ之レヲ知事ニ報告スヘシ

第八條 官沒セル物品ハ必ス其町村役場ニ於テ領收シ該物品預リ書ヲ製シ其都度所轄郡役所へ差出スヘシ郡役所ニ於テハ第六條ニ依リ開申ノトキ該預書ヲ添付ス可シ

第二章 地租割及戸數割

第九條 凶荒罹災等ニ付例規ニ依リ地租割又ハ戸數割ノ免除若シクハ延納ヲ出願スルモノアルトキハ町村役場ニ於テ其事實ヲ調査シ果シテ相違ナキト視認スルモノハ之ニ認

印ヲ捺シ所轄郡役所へ差出ス可シ郡役所ニ於テハ尙ホ之ヲ精査シ聽許ノ上ハ其町村役場へ報告スヘシ



第十條 極貧者ニシテ例規ニ依リ戸數割ノ免除又ハ延納ヲ出願スルモノアルトキハ町村役場ニ於テ實地ニ就キ木人家族ノ多寡及職業財產等ノ有無其他ノ現況トモ精密取調之ヲ副書ト爲シ所轄郡役所ヘ差出スヘシ郡役所ニ於テハ一層之ヲ査理シ聽許ノ上ハ總テ前條手續ニ依ルヘシ

第十一條 第九條第十條ニ依リ郡役所ニ於テ聽許ノ處分ヲ爲スルモノハ第四號書式ニ準シ前後半期分ツ、取調其翌月十五日迄ニ之ヲ開申スヘシ

第十二條 戸數割ノ個數ニ用ユル宅地ノ地價建物ノ坪數雇人ノ員數等ハ町村役場ニ於テ平素嚴密ノ調査ヲ遂テ増減ノ都度其届出ヲ怠ラシムヘカラス又郡役所ニ於テモ臨時吏員ヲ派シ實地ニ就キ之ヲ點檢ス可シ

第十三條 町村役場ニ於テハ第五號書式ニ準シ戸數等級帳(町村毎ニ區分ス)ヲ製置シ前條各種届出アルトキハ個數ノ増減ヲ加除シ毎年七月一日ノ現在ヲ以テ第六號書式ニ依リ戸數等級ヲ取調該月十日限所轄郡役所ヘ届出ツヘシ郡役所ニ於テハ毎年右現在調ニ依リ郡内取調各等級ヲ區別シ其年七月二十日迄本廳ヘ報告スヘシ

第三章 營業稅及雜種稅

第十四條 各種營業者ヨリ營(兼)業願書若クハ届書ヲ差出スルモノハ町村役場ニ於テ其營業金高ニ依リ課稅ス可キモノハ其商業ノ種類資本金ノ多寡雇人ノ員數等凡ソ業體ニ屬スル件ヲ精密尋糾シテ其見積金額ノ適否ヲ調査シ又坪數等ニ依リ課稅ス可キモノハ前趣旨ニヨリ之ヲ調査シ或ハ實地ニ就キ點檢ヲ爲シ果シテ相違ナキモノト祝認スルトキハ與書シテ之ヲ主管ノ箇所ヘ進達ス可シ

但營業稅雜種稅規則第二條但書ニ依リ郡役所ヲ經由スル者ハ同所ニ於テモ尙ホ之ヲ調査シ其見積金又ハ坪數等書上ニ對シ異見アルトキハ其趣旨ヲ添書ニ記載シ其異見ヲキモノハ經由ノ印ヲ捺シテ之ヲ進達ス可シ

第十五條 前條願書又ハ届書ニシテ郡役所ニ於テ處分ス可キモノハ同所ニテ尙ホ之ヲ精査シ適當ト祝認スルトキハ等級又ハ稅額ヲ定メテ之ヲ該願届書ニ記入シ(願書ハ指令ハ直ニ之レニ稅額)町村役場ヲ經テ本人ヘ下付スヘシ(願書ハ指令等ヲ記入スヘシ)

第十七條 營業者中移住届アルトキハ其町村役場ニ於テ第七號書式ニ依リ送狀ヲ製シ移住地ノ町村役場ニ回付シ其領收證ヲ得テ名簿ヲ削除スヘシ又移住地ノ町村役場ニ於テハ送狀到達三日以内ニ領收証ヲ發付シ名簿ニ登記シ各其加除シタル人名ヲ所轄郡役所ヘ報告ス可シ

第十八條 郡役所及町村役場ニ於テハ營業者名簿ヲ製シ置キ營業廢業其他一切異動ニ係ルモノハ其都度之ヲ加除ヲ爲ス可シ

第二十一條 新規營業者及演劇興行等當期ノ稅金ヲ納付セス開業スルモノアルトキハ町村役場ニ於テ直ニ之ヲ所轄郡役所ヘ報告スヘシ郡役所ニ於テハ事實取調相當ノ處分ヲスヘシ

第二十二條 演劇興行ノ先納稅金決算ヲ乞フトキハ町村役場ニ於テ其過不足ヲ精査シ第八號書式ニ準シ決算書ヲ製シ所轄郡役所ヘ上納又ハ請求シ本人ヘ還付スヘシ

第二十三條 屠畜營業者ヨリ稅金上納ノ時ハ其頭數稅額調査ノ上之ヲ收入シ郡役所ヘ送



納ノ時其屠畜ノ種類(牛、豚、羊、豚)及頭數ヲ報告ス可シ

第二十四條 罹災等ノ爲メ成規ニ依リ税金ノ免除又ハ延納ヲ乞フモノアルトキハ總テ第九條ノ手續ニ依リ調理スヘシ

第二十五條 例規ニ依リ營業金高又ハ其業体僅少ニシテ免稅ヲ願出ルモノアルトキハ町村役場ニ於テ其資金及収利ノ多少其他業体ニ屬スル諸般ノ件々ヲ精細取調タル上與書シテ之ヲ所轄郡役所ヘ進達スヘシ郡役所ニ於テハ或ハ吏員ヲ派シテ實地ヲ檢點セシメ又ハ戸長ニ再調ヲ命シ嚴密其現狀ヲ查理シタル上彼是不公平ニ涉ラサル様適宜許否ノ處分ヲ爲スヘシ

第二十六條 工業者理髮人ノ弟子見習等及漁業採藻ヲ營ムモノニシテ年齡ニ依リ免稅ニ屬スルモノ、届出アルトキハ町村役場ニ於テ戸籍帳ヘ照合シ其相違ヲキモノハ認印ヲ捺シ若シ相違アルトキハ其理由ヲ副書ニ記載シ所轄郡役所ヘ進達スヘシ

第二十七條 第二十四條第二十五條ニ依リ免稅又ハ延納ノ處分ヲ爲タルモノ及第二十六條其他例規ニ據リ免稅ノ届出アルモノハ第十一條ノ手續ニ依リ取調之ヲ開申スヘシ但免稅又ハ延納ノ處分ヲ爲タルモノハ其時々本人所轄ノ町村役場ヘ報告シ町村役場ニ於テハ其組合アル營業者ニ係ルモノハ之ヲ其行司ニ報告スヘシ

第二十八條 鑑札ヲ下付シ又ハ標牌ヲ掲表スヘキモノハ郡役所ニ於テ取締規則(營業稅取締規則ヲ云)第七號及第八號離形ニ依リ鑑札ハ之ヲ調製シ標牌ハ各自ヨリ差出サシメ毎種類一郡内ヲ通シタル順號ヲ記入シテ之ヲ下付スヘシ

第二十九條 營業者轉居改名代替及乘馬水車賣買讓渡等ニ付鑑札書替ヲ乞フ場合ニ於テ差支ナキモノハ最前ノ鑑札面ヘ朱書ヲ以テ訂正シ主任郡吏ノ捺印ヲ爲シ下付スルモ妨ケナシ

第三十條 前條轉居及乘馬水車ノ賣買讓渡等ニテ甲乙郡役所ヘ管涉スルモノハ必ズ鑑札書換下付スヘシ尤モ主管ノ郡役所ニ於テハ處分濟ノ上直チニ管涉ノ郡役所ヘ通告ヲ爲スヘシ

第三十一條 營業者ヨリ組合行司ヲ撰擧シ届出ルトキハ郡役所ニ於テ取締規則第十號離形ニヨリ當撰狀ヲ製シ之ヲ交付シ尙其名簿ヲ製置シ異動ノ都度之ヲ加除スヘシ但本條處分ノ都度所轄町村役場ヘ報告スヘシ

第三十二條 郡役所ニ於テ取締規則第三十二條ニヨリ組合營業者ヲ招集シ等級ヲ評定セシムル場合ニ於テハ豫シメ日限ヲ定メテ之ヲ本廳ニ報告スヘシ

第三十三條 郡役所ニ於テ取締規則第三十二條ニヨリ組合營業者ヲ招集シ等級ヲ評定セシムル場合ニ於テハ豫シメ日限ヲ定メテ之ヲ本廳ニ報告スヘシ

第三十四條 郡役所ハ毎年七月一日ノ現在ヲ以テ營業稅雜種稅賦稅額及免稅額共第九號書式ニ準シ調製シ同月二十日限本廳ヘ報告ス可シ

第三十五條 組合營業者ヨリ行司ニ關スル費用ノ届出アルトキハ郡役所ニ於テ其費額ノ多少等ヲ調査シ不都合ト視認スルトキハ更正方ヲ諭示ス可シ

第三十六條 郡長ハ所轄内市場演劇興行其他各種類ニ付税金徵収取締ノ爲メ郡吏又ハ戸長ヲシテ臨時營業者ノ帳簿及實況等ヲ檢閲セシムヘシ

但郡吏ヲ臨監セシムルトキハ取締規則第九號ノ鑑査印章ヲ携帯セシムヘシ

第三十七條 郡役所及町村役場ニ於テハ前各條ノ外營業稅雜種稅取締規則ノ趣旨ニ依リ



















何稅(小科目)

右ハ何町村何某外何名何々(事故詳細記載)ニ付成規之通延納(免除)許可致候條別紙明細表相添此段及開中候也

年 月 日

郡長 姓

名 印

縣 令 宛

(第四號附屬)

明治何年度第何期地方稅(地租割營業稅) 雜種稅戶數割(延納(免除)金明細表)

何郡村名	稅目	小科目	稅金	上納額	延納金	理由	住所姓名
何町村	地租割	何期					
	營業稅	何々					
	雜種稅	何々					
	戶數割	何等					

合計							
----	--	--	--	--	--	--	--

右之通候也  
年 月 日

何郡役所印

等級	宅地々價	建物坪數	雇人員數	增	減	現在個數	番地	人	名
----	------	------	------	---	---	------	----	---	---

第五號 何町(村)戶數等級帳

一等	何圓	何坪	何人	何人	何坪	何坪	何個	何番地	何ノ誰
合計	何圓			何個	何個	何戶		何番地	何ノ誰
二等	何圓			何人	何坪	何坪	何個	何番地	何ノ誰
合計	何圓			何個	何個	何戶			何人
通計									

第六號 (以下此ノ例ニ倣ヘ)

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金



何年何月日現在戸數調			
等	級	戸	數
何	等	何	戸
、	、	、	、
合	計	何	戸
(以下之ニ做ヘ)			
右者當部内何町村外何ヶ町村現在戸數 前書之通相違無之仍テ及御届候也			
何郡何町村外何ヶ町村 戸長 何 之 誰 印			
第七號 送 狀			
何年何月何日營業願(届)濟 何郡何町村何番地 (何等)何々營業 何 之 誰			
何年何月何日 何郡長 何 之 誰 殿 何郡何町村外何町村 戸長 何 之 誰 印			
第七號 送 狀			
何年何月何日營業願(届)濟 何郡何町村何番地 (何等)何々營業 何 之 誰			
税金 何 程			

但何年度第何期分(何月分)税金納済(未納)

右者何年何月何日何町村何番地へ移住ノ趣届出候條此段及報告候也

何郡何町村外何町村  
戸長 何 之 誰 印

第八號

何々興行(開業)税決算書

(未納)金 何 圓  
一 金 何 圓

何月何日許可先納金  
過(不足)

右ハ當部内何町村何番地ニ於テ何月何日ヨリ何某外何名何日間何々興行(開業)致候處  
今般税金ニ過(不足)相生候趣ヲ以テ還付方(上納)申出ニ付事實取糺シ候處相違無之仍  
テ過納税還付相成度(不足税上納)候也

何郡何町村外何町村  
戸長 何 之 誰 印

年 月 日 何郡長 何 之 誰 殿



明治何年度營業稅雜種稅豫算報告書

商 業		等級	賣捌高	取扱高	稅 額	人 員
何 等	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓	何 人
合 計	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓	何 人
工 業		職 業	稅 額	有稅人員	免稅人員	計
大 工	何 圓	何 圓	何 圓	何 人	何 人	何 人
弟子見習等	何 圓	何 圓	何 圓	何 人	何 人	何 人
合 計	何 圓	何 圓	何 圓	何 人	何 人	何 人

(此ノ外雜種稅中等級アルモノハ商業ニ徵ヒ其他頭數等ヲ以テスルモノハ各適宜ニ記入スヘシ)  
右及報告候也

年 月 日 何 郡 役 所 印

秋 田 縣

御 中

○秋田縣達第百四號 明治十九年十月四日

郡役所 戶長役場

地方稅收納順序別紙之通改定ス

地方稅收納順序

第一條 地方稅ハ郡長ニ於テ每納期其納額ヲ各町村納額元帳ニ登記シ納期初日ノ十五日以前第一號ノ如ク甲乙接續セル納稅切符ヲ製シ其納金額及納期限ヲ該切符ヘ記入シ甲納稅切符ヘ一印ノ如ク郡役所ノ印ヲ捺シ且元帳金額ト割印シテ之ヲ戶長ニ達スヘシ

第二條 戶長ハ郡長ヨリ納稅切符ヲ得レハ其町村一人別帳ニ據リ稅金ヲ徵収シ乙納稅切符ヘ二印ノ如ク調印シ之ニ徵收セル現金ヲ添ヘ郡役所爲換方ヘ預ケ入ルヘシ

但納期限前ニ徵収シタル金額ハ第二號ノ如ク切符ヲ製シ何ケ度ニモ爲換方ヘ相預ケ預リノ証印ヲ得其郡度郡役所ヘ上納シ納期限ニ至リ第一號切符(乙印)ヘ第三號ノ如ク記載シ本文ノ順序ヲ爲スヘシ

第三條 郡役所爲換方ハ乙納稅切符ヘ三印及四印ノ証印割印ヲ捺シ戶長ヘ渡スヘキニ付戶長ハ甲納稅切符ヘ五印ノ如ク調印シ郡長ヘ上納スヘシ

第四條 郡長ハ戶長ヨリ上納セル甲乙納稅切符金額ト納額元帳トヲ照查シ皆納又ハ內納ノ金額ヲ元帳ヘ記入シ而シテ甲納稅切符ヘ六印ノ如ク捺印シタル後甲乙ヲ分截シ乙ハ郡役所ニ留メ甲ハ戶長ニ附シ以テ稅金皆納ノ証トスルモノトス

但第貳號納稅切符ヲ以テ納ムルモノハ其郡度郡長名印ノ領收證書ヲ附與スヘシ



第五條 新規營業稅其他時々收入ノ諸稅ニツテ甲乙接續切符ヲ用ヒ難キモノハ戶長ニ於テ一稅毎ニ第貳號ノ納稅切符ヲ以テ郡役所爲換方ヘ預ケ入レ其時々郡長ヘ上納スヘシ

第六條 納稅期限ニ至リ若シ稅金皆納シ能ハサルモノアルキハ第一號納稅切符ヘ第四號ノ如ク戶長ニ於テ其納金額ノ傍ヘ現ニ徵收シタル金額ヲ内書ニシ不納金額ヲ外書ニシ

第七條 郡長ニ於テ前條ノ報告ヲ得ルキハ先ツ其不納金額ヲ第五號ノ如ク不納額帳ニ登記シ且ツ第四號雛形甲納稅切符ノ右側ニイ印ノ如ク割印シテ其徵收シタル金額ヲ納額元帳ニ記入シ其納稅切符ノ納金額ニ對シ領收ノ証印ヲ捺シ以下成規ノ手續ヲ爲スモノトス

第八條 不納者ノ處分ヲ爲シ徵收シタル稅金ハ郡長ニ於テ第六號ノ如ク切符ヲ製シ其金額ヲ爲替方ヘ相預ケ預リノ証印ヲ受ケ以下成規ノ手續ヲ以テ上納スヘシ此場合ニ於テハ徵收シタル金額ヲ戶長ニ通報スルモノトス

第九條 郡長ニ於テ既納稅金ノ下戻若クハ科目ノ更正等ヲ要スルトキハ其事由ヲ記シ知事ニ請求シ其下戻ニ係ルモノハ第七號ノ如ク請求書ヲ差出シ稅金拂戻ヲ得タルトキハ第八號ノ如ク請取証ヲ差出ス可シ

第十條 郡長ハ第一條納稅切符ヲ戶長ヘ達シタルトキハ第九號ノ如ク納額報告書ヲ製シ知事ヘ報告スヘシ其納額ニ増減ヲ生スルトキハ其時々之ヲ追報スルモノトス

第十一條 郡長ハ一旬日間領收セル稅金ヲ取纏メ三日以内ニ第十號ノ如ク上納証書ヲ製シ之ヲ知事ニ送付スヘシ

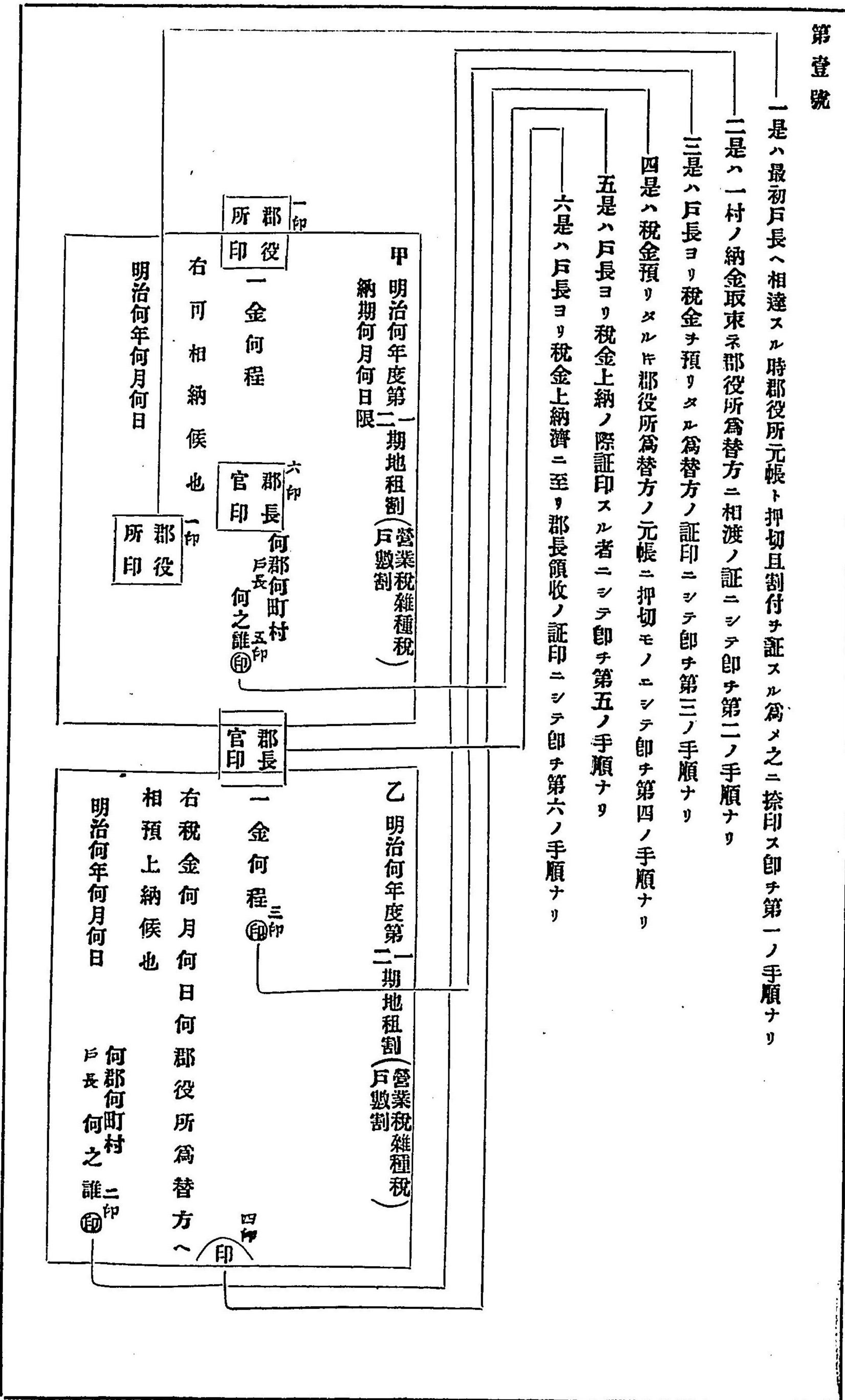
第十二條 知事ハ郡長ヨリ上納証書ヲ得タル日ヨリ三日以内ニ第十一號ノ如ク領收証書ヲ製シ郡長ヘ送付スルモノトス

第十三條 郡長ハ地方稅皆濟期限後三ヶ月以内ニ於テ第十二號ノ如ク皆濟報告書ヲ製シテ知事ニ差出シ之カ決算ヲ爲スモノトス



第壹號

- 一 是ハ最初戸長へ相違スル時郡役所元帳ト押切且割付ヲ証スル爲メ之ニ捺印ス即チ第一ノ手順ナリ
- 二 是ハ一村ノ納金取束ネ郡役所爲替方ニ相渡ノ証ニシテ即チ第二ノ手順ナリ
- 三 是ハ戸長ヨリ税金ヲ預リタル爲替方ノ証印ニシテ即チ第三ノ手順ナリ
- 四 是ハ税金預リタル郡役所爲替方ノ元帳ニ押切モノニシテ即チ第四ノ手順ナリ
- 五 是ハ戸長ヨリ税金上納ノ際証印スル者ニシテ即チ第五ノ手順ナリ
- 六 是ハ戸長ヨリ税金上納済ニ至リ郡長領收ノ証印ニシテ即チ第六ノ手順ナリ





第二號

明治何年度分  
何々税(小科目)第何期

何郡  
何町村分

一金何程

又ハ何郡何町村  
何之誰分

右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預上納候也

何郡何町村  
戸長 何之誰印

年月日

印

郡役所爲替方  
預ノ証印

第三號

乙納稅切符

明治何年度第二期地租割(營業稅雜種稅)  
納期何月何日限

一金百圓  
內金九十五圓  
內金五圓

何郡何町村分  
表面之通何月何日納

右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預上納候也

何郡何町村  
戸長 何之誰

年月日

印

裏面

金五拾圓	何月何日納
金貳拾圓	何月何日納
金貳拾五圓	何月何日納
小以金九拾五圓	



明治何年度第一期地租割 (營業稅雜種稅)  
 納期何月何日限  
 何郡何町村 戶長 何之誰印

一金百圓  
 內 郡長 官印  
 外 金九拾圓

金拾圓 不納  
 郡役所 印

右可相納候也  
 年月日

明治何年度第二期地租割 (營業稅雜種稅)  
 納期何月何日限  
 何郡 何町村分

一金百圓  
 內 郡長 官印  
 外 金九拾圓 印

金拾圓 不納  
 何月何日納

右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預上納候也  
 何郡何町村 戶長 何之誰印  
 年月日



第五號

明治何年度

何税不納額帳

何 郡

此帳簿ハ各税納期ヲ過キ不納金額ヲ掲グルモノナリ公賣處分等ニテ上納金額ヲ徵收セシトキハ金員ノ傍ヘ何月何日處分濟收入ト記入ス  
若シ處分濟ノ上不納金額ニ不足ヲ生セシトキハ内書ニ徵收ノ員額ヲ掲ケ其下ヘ何月何日處分濟收入ト記入シ差引不足ノ金員ヲ傍ヘ掲ケ其姓名事由等ヲ但書ニ詳記ス

納税別符イ印ト割印

何郡何町

之

誰

一金何 程

但何々(事由記載)

何月何日處分中(或ハ濟)收入

第六號

明治何年度第二期地租割(營業稅雜種稅)  
戶數割

納期何年何月何日限

高金百圓之内

金九拾圓

何年何月何日納濟

何郡何町村

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄

賦金

二百七十九



一金拾圓<sup>⑩</sup> 何之誰分<sup>⑪</sup>

何月何日不納處分濟追徴之分

右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預上納候也

年月日 何郡長 何之誰印

第七號 何年何月何日第何號上納之内

何年何月何日第何號上納之内

右ハ何々事故ニヨリ過(誤)納相成候條前書金員御還附有之度候也

年月日 何郡長 姓 名

第八號 秋田縣知事宛

証 (用紙美濃梓野紙)

第何號上納ノ内

第九號 但明治何年度何稅(小科目)

右請取候也

年月日 何郡長 姓 名 印

秋田縣知事宛

第九號 明治何年度第何期地方稅

納額報告書 (用紙美濃梓野紙)

一金何程 何々稅(大科目)第何期

金何程内 何々稅(小科目)

金何程内 何々稅(小科目)

金何程内 何々稅(大科目)第何期

金何程内 何々稅(小科目)

以下倣之

右納(増)額申報候也

年 月 日 郡長 姓 名 印

知事 宛

(増減追報モ此例ニ準ス)

第十號 証 (用紙美濃梓野紙)

第十一號

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金



一金何程  
 内 金何程  
 内 金何程  
 内 金何程  
 以下做之  
 計金何程  
 但明治何年度第何期地方稅  
 右上納候也  
 年 月 日  
 知 事 宛  
 第十一號  
 第何號(本廳番號)  
 第何號(郡上納証番號)  
 一金何程  
 但明治何年度何稅第何期稼續(新規)又ハ時々收入  
 右 領 收 候 也

何々稅(大科目)稼續  
 何々稅(小科目)  
 何々稅(小科目)  
 何々稅(大科目)新規  
 何々稅(小科目)  
 何々稅(小科目)

郡長 姓 名 印

年 月 日  
 郡 長 宛  
 秋田縣知事 姓 名 印

第十二號  
 明治何年度地方稅皆濟報告  
 (印ハ朱書)  
 ◎豫算額金何程  
 一金何程 (本縣へ送納セシ總金額) 地 租 割  
 但本年度地租精算高金何程地租金壹圓ニ付金何程  
 ◎外  
 ◎金何程  
 何々ノ事故又ハ盜難等ニテ勘定除却之儀(何年何月何日第何號ヲ以)上申濟之分  
 何町村外何々町村何ノ誰外何名何々ニ付成規ニ依リ免除之儀(何年何月何日第何號ヲ以)上申濟之分  
 何町村外何々町村何ノ誰外何名不納ニ付成規ニ依リ公賣處分之末官損之儀(何年何月何日第何號ヲ以)上申濟之分  
 ◎金何程  
 ◎豫算額金何程  
 一金何程  
 内 譯  
 ◎金何程  
 營 業 稅







金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
程	程	程	程	程	程	程	程	程	程
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅
車	船	人寄	遊技	遊覽	興業	演劇	市場	藝妓	耕間
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅

金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
程	程	程	程	程	程	程	程	程	程
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅
水車	乘馬	屠畜	漁業	採藻	戶數割	採藻	漁業	屠畜	乘馬
稅	稅	稅	稅	稅	割	稅	稅	稅	稅

◎採藻額金何程  
 一 金 何程  
 ◎外  
 但本年度現在賦課戶數總高何戶平均壹戶ニ付金何程

◎金 何程  
 何ノ事故又ハ盜難等ニテ勘定除却之儀(何年何月何日第何號ヲ以)上申濟之分

◎金 何程  
 何町村外何々町村何、誰外何名何々ニ付成規ニ依リ免除之儀(何年何月何日第何號ヲ以)上申濟之分

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金







第一條 地方税金ハ第一號ヨリ第五號マテノ式ノ如ク帳簿ヲ製シ其種類ニ依リ納額増減額及領收高等ヲ漸次記入シ本税ノ納否ヲ詳明シテ該年度ノ決算ヲ了スルモノトス

第二條 郡長ハ納期ニ從ヒ地租割若クハ戸數割ヲ每町村各其納額ヲ臺帳ヨリ移記シ第一號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シテ納稅切符ト割印シ其増額ハロ印ノ如ク記載シ更ニ製シタル納稅切符ト割印シ其減額ハホ印ノ如ク記載シテ戸長へ通報書ト割印スルモノトス

第三條 前條ノ税金ヲ領収スルトキハハ印ノ如ク記載シ領收証書ト割印シ誤納還付ニ係ルモノハヘ印ノ如ク記載シ常ニ過未納ヲ二印ノ如ク掲ケ其過納ハ朱字ヲ以テ記載シ又不納處分中収入ノモノ及處分ノ未追徴シタルモノハ不納額帳ヨリト印ノ如ク移記シ欠損ヲ生セシトハチ印ノ如ク記載スルモノトス

第四條 地租割若クハ戸數割ノ合計ハ各町村ノ納額及其増減ヲ第二條ノ如ク記入シタルキリ印ノ如ク記載シ之ヲ知事へ申報スルトキハヌ印ノ如ク記載スルモノトス

第五條 納額ニ對シ領収シタル税金ハル印ノ如ク記載シ置キ知事へ送納スルトキハ之ヲ合計シテ印ノ如ク記載シテ上納証書ト割印ス而シテ之ニ對スル領收証書ヲ受クルトキハワ印カ印ノ如ク記載スルモノトス

第六條 營業稅及ヒ雜種稅ハ第二號第三號帳簿式ノ如ク每町村小科目ヲ以テ口分ケトシ(營業者ノ多數アル郡ニ於テハ小科目)小計ヲ付シ大科目ヲ以テ合計トナシ各其納額ヲ臺帳ヨリ移記シ前各條ノ手續ニ依リ記載スルモノトス

第七條 新規營業等ニテ其時々収入ノ税金ハ之ヲ領収スル毎ニ各其種類ニヨリ第四號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ領收証書ト割印シロ印ノ如ク日計ヲ付シハ印ノ如ク通計シ大科

目ヲ以テ合計トナシ知事へ送納スルトキハニ印ノ如ク記載シ上納証書ト割印ス而シテ之ニ對スル領收証書ヲ受クルトキハホ印ノ如ク記入シヘ印ノ如ク通計ヲ付スルモノトス

第八條 地方稅決算報告書ヲ知事ニ送付スルトキハ每期小科目小計及大科目ノ合計ヘテ印ノ如ク記載シ以テ帳簿ヲ閉記スルモノトス

第九條 日々領収セル税金ハ第五號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ之ニロ印ノ如ク日計ヲ付シ其殘高ヲハ印ノ如ク累記シ置キ之ヲ知事へ送納シタルトキハニ印ノ如ク記載シ第一號乃至第三號帳簿ヲ印(第四號帳簿)ノ金員ヲ合算照査スルモノトス

(此帳簿ハ一期毎ニ調製スヘシ) (印ハ朱書)

何年度  
地租(戸數)割 収 納 元 帳  
何 郡 役 所

(戸數割モ此雛形ニヨルヘシ)

第一	期	地	租	割	何	郡	村
年	月	日	摘	要	書	加	納額及
						増額	減額
						領收高	誤納還付
						除却	勘定
						未納	殘高

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金







第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三月廿六日	三月廿八日	三月卅一日	四月一日	四月三日	四月五日	四月二十日
減	全日收稅長へ送納		増	還付	全日收稅長へ送納	
三月二十七日 日收稅長へ 申報	領証何號		四月三日 收稅長へ 申報	四月二日 收稅長ヨリ 受取	領証何號	
			壹圓			
五百圓						
	六百四十圓 (二千四百)	千壹圓			拾壹圓	四百三十圓
					千拾二圓	
				壹圓		
未二千五百五十圓	未千五百十圓	未五百九圓	未五百十圓	未五百十一圓	未五百圓	未七拾圓

二百九十五

三月廿四日	三月廿二日	三月廿日	三月十五日	三月十一日	二月一日	年月日
		三月廿一日 日收稅長へ送納	増	各町納額	年	第壹期地租割合計
		領証何號ヨリ	三月十八日 報收稅長へ申	三月四日 報收稅長へ申	書加	
			五拾圓	四百五十圓	納額及減額	
					領收高	
八百圓	千圓	五百五十圓 (五百五十圓)			句計送納高	何郡ヶ町村
					還付	
					勘定	
未二千二百圓	未三千圓	未四千圓	未四千五百五十圓	未四千五百圓	未納殘高	

二百九十四



第一類 第四 縣稅 付充儲備蓄 賦金

三月十五日	三月二十一日	年月日	第壹期	四月三十日	三月廿三日	三月十五日
	各町納額	摘要	商業稅	公賣處分ノ未追徴	内納	内納
		書加	稅	五月一日ノ知長へ通		
	三百圓	納額及減額	續			
		領收高	小計			
二百九拾圓		句計送還	何郡	四圓	六圓	貳百九拾圓
		納除却	ヶ町村			
		定却			未四圓	未拾圓
未拾圓	未三百圓	納過納未		完結		

二百九十七

營業稅 何年度 第二號  
(此帳簿ハ毎町村小科目ヲ以テ分ケトシ一期毎ニ調製スヘシ但營業者ノ多數アル郡ニ於テハ小科目毎ニ各別帳簿トナス)  
 元帳

三月二十一日	三月二十一日	年月日	第一期	四月廿六日	六月廿一日	六月廿一日
納額	納額	摘要	商業稅	全日送納	公賣處分ノ未欠損	公賣處分ノ未欠損
同日戶長へ送ス	同日戶長へ送ス	書加	稅	領納何號	六月廿一日ノ開申	六月廿一日ノ開申
三百圓	三百圓	納額及減額	續	何號	日許可	日許可
		領收高	何郡		四百圓	四百圓
		高課納還付除却勘定	町村		卅四圓	卅四圓
未三百圓	未三百圓	納過納未			七拾圓	七拾圓
					完結	完結

二百九十六



第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

二百九十九

四月廿九日	三月廿七日	三月廿五日	三月廿四日	三月十六日	三月一日	二十一年	年月日
ノ公賣處分 未欠損分	還何々ニ付 附	増何々ニ付		減何々ニ付	納額	全日戸 長へ達	摘要書加
		(五圓)			貳百五拾圓		納額及
				貳圓			減額
			貳百五拾圓				領收高
	貳圓						誤納
五圓							付除却
完	未五	未三	過貳	未貳百四拾八圓	未貳百五拾圓	納未	殘
結	圓	圓	圓				高

三月廿一日	三月廿三日	三月廿八日	四月三十日	五月六日	六月三十日	廿一年	年月日
					決算		摘要書加
					報告		納額及
					三百圓		減額
					三百圓		領收高
				四圓			誤納
				六圓			付除却
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘
							高
							納未
							殘











第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三百五

年月日	摘要	納額及減額	領收高	何郡	何町村
二十一年三月一日	各町納額	二百五拾圓			
三月十五日			貳百圓		未五拾圓
三月廿一日					
三月廿二日			四拾五圓		未五圓
三月廿八日			四拾五圓		
第一期料		納額及減額	領收高	何郡	何町村
		納額	納高		納未
		減額	還納		納未
		領收高	除却		納未
		納額	勘定		納未
		減額	納過		納未
		領收高	殘高		納未

年月日	摘要	納額及減額	領收高	何郡	何町村
二十一年三月一日	納額	全日戶長(貳百五拾圓)			
三月十五日	內納		貳百圓		未五拾圓
三月廿二日	內納		四拾五圓		未五圓
三月廿九日	減何々ニ付	五圓			完結
三月三十日	增何々ニ付	三圓			未三圓
三月卅一日			三圓		完結
第一期料		納額及減額	領收高	何郡	何町村
		納額	納高		納未
		減額	還納		納未
		領收高	除却		納未
		納額	勘定		納未
		減額	納過		納未
		領收高	殘高		納未

三百四







第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三百九

年月日	摘要	第一期相撲稅稼績小計	何郡	何町村	年月日	摘要	第一期相撲稅稼績	何郡	何町村
二〇二〇年三月一日	各町納額	五圓			二〇二〇年三月一日	納額	五圓		
	納額及減額					同日戶長へ達ス			
	領收高					五圓			
	旬計送還付勘定未納過納未					知戶長へ通分			
	殘高					五圓			
						公賣處分未追徴			
						五圓			
						完結			

年月日	摘要	第一期相撲稅稼績	何郡	何町村	年月日	摘要	第一期相撲稅稼績	何郡	何町村
二〇二〇年三月卅日	決算	百圓			二〇二〇年三月卅日	納額	五圓		
	報告					同日戶長へ達ス			
	百圓					五圓			
						五圓			
						五圓			
						九拾圓			
						未五圓			
						未拾圓			
						完結			

三百八







第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

四月 卅日	四月 卅日	四月 廿六日	四月 廿日	四月 五日	三月 卅一日	三月 卅日
ノ公 未欠 損分	内 納	送收全 納稅長 へ	内 納	送收全 納稅長 へ	内 納	内 納
		領納 証何 號		領納 証何 號		
	拾 圓		五 圓		三 圓	九 拾 圓
		五 圓		九 拾 三 圓		
五 圓						
完		未 拾 五 圓	未 拾 五 圓	未 貳 拾 圓	未 貳 拾 圓	未 二 拾 三 圓
結						

三百十三

三月 卅日	三月 廿九日	三月 廿八日	三月 廿二日	三月 廿一日	三月 十五日	二月 二十 年 三月 一日
増	減	送收全 納稅長 へ	内 納	送收全 納稅長 へ	内 納	各 村 納 額
		領納 証何 號		領納 証何 號		全 日 報 稅 長 へ
						三 百 六 拾 圓
三 圓	五 圓					
			四 拾 五 圓		貳 百 圓	
		四 拾 五 圓		貳 百 圓		
	未 百 拾 圓	未 百 拾 五 圓	未 百 拾 五 圓	未 百 六 拾 圓	未 百 六 拾 圓	未 三 百 六 十 圓

三百十二



第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三百十五

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金		第一期工業稅新規		四月廿六日	四月廿六日	四月廿六日	四月廿六日	四月廿六日
年月日	摘要	書加	領收	誤納	還付	人	名	
四月五日			壹圓			何町何之誰		
六月卅一年	決算報告		六圓					
	通計		六圓					
	計		三圓					
			壹圓五拾錢			何町何之誰		
			壹圓五拾錢			何町何之誰		
			三圓					

何年度  
營業(雜種)稅收納元帳  
第四號

此帳簿ハ小科目ヲ以テ口分ケトシ一期毎ニ調製スヘシ  
但營業者ノ多數アル郡ニ於テハ小科目コトニ各別帳簿  
トナスモ妨ケナシ

何郡役所

第一期商業稅新規		四月一日	四月一日	四月一日	四月一日	五月六日	五月六日
年月日	摘要	書加	領收	誤納	還付	人	名
四月一日			壹圓			何町何之誰	
四月一日			壹圓五拾錢			何町何之誰	
四月一日			五拾錢			何町何之誰	
五月六日	決算報告		三百五拾八圓				
五月六日	送納長		貳百五拾三圓				
五月六日	領証何號		拾圓				
五月六日	領証何號		五圓				

三百十四



二十一年 六月三十日	通計	計	四月廿六日	四月廿三日	計	四月五日	四月一日	年月日摘要書加價收高誤納還付人名
決算報告		四月廿六日收納領証何號		四月廿三日收納領証何號	四月五日收納領証何號			
拾壹圓	拾壹圓	四圓五拾錢	三圓	壹圓五拾錢	六圓五拾錢	三圓五拾錢	三圓	
			何人	何人		何人	何人	

二十一年 六月三十日	通計	計	四月廿三日	四月廿三日	計	四月五日	四月五日	第一期營業稅新規合計
決算報告								
五圓	五圓	壹圓五拾錢	壹圓	五拾錢	三圓五拾錢	壹圓五拾錢	壹圓	
			何村之誰	何村之誰		何町村之誰	何町村之誰	







第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三百二十一

四月三十日	四月三十日	月 日	四月廿六日	四月廿三日	四月廿日	四月廿日	四月廿日	月 日
第一期	第一期		第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	
雜種稅	營業稅		營業稅新規	營業稅新規	雜種稅	地租	地租	
拾圓	四圓		三圓	壹圓五拾錢	五圓	四百三拾圓	四百三拾圓	
		四月廿六日					四月五日	
		何枚	何枚				何枚	何枚
		四百三拾九圓五拾錢					千百拾五圓	
			四百三拾九圓五拾錢	四百三拾六圓五拾錢		四百三拾五圓		

四月五日	四月五日	四月五日	四月一日	三月卅一日	三月卅一日	三月卅一日	三月三十日	月 日
計	第一期	第一期	第一期	計	第一期	第一期	第一期	
	地租	營業稅新規	營業稅新規		雜種稅	地租	雜種稅	
拾四圓五拾錢	壹圓	三圓五拾錢	三圓	千四圓	三圓	千壹圓	九拾圓	
								三月廿八日
								何枚
								何枚
								貳千八百七拾壹圓
千百拾五圓			千九拾七圓	千九拾四圓			九拾圓	

三百二十



四月三十日	計	拾四圓			拾四圓
五月六日	何枚	拾四圓	何枚	拾四圓	拾四圓

○達第廿六號 明治廿年二月廿二日 郡役所 戸長役場

地方税収納順序ニ属スル戸長役場記帳手續別冊之通相定明治二十年分ヨリ施行ス  
但從來ノ達指令等ニテ之ニ抵觸スルモノハ本條施行ノ時ヨリ廢止ス

戸長役場記帳手續

第一條 戸長ハ郡長ヨリ納稅切符ヲ受タルキハ各稅一人別ニ其納額ヲ第一號第二號第三號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ該稅配賦書ト割印シ而シテ之ヲ領収スルトキハロ印ノ如ク記載シ領収証書ト割印スルモノトス

第二條 新規營業等ニテ其時ノ收入ノ諸稅ヲ領収スルトキハ第四號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ領収証書ト割印スルモノトス

第三條 領収シタル税金ヲ爲換方ヘ預ケ入ントスルトキハ第一號帳簿ヘハ印第四號帳簿ヘロ印ノ如ク記載スルモノトス

第四條 税金不納額ヲ郡長ヘ申報スルトキハ第五號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ郡長ヨリ追徴濟ノ通報ヲ得タルトキ及其處分中收入ニ係ル者ハ第二號帳簿ヘニ印第五號帳簿ヘロ印ノ如ク記載スルモノトス

第五條 日々領収セル税金ハ其種類コトニ第六號帳簿ヘイ印ノ如ク順次記載シロ印ノ如ク日計ヲ付シ之ヲ爲換方ヘ預ケ入ントスルトキハバ印ノ如ク合計ヲ付シ第一號帳簿ハ印乃至第四號帳簿ロ印ノ金員ヲ合計照査スルモノトス

何年度地方税地租割  
何町村

何年度地租割収納元帳  
何町村 戸長役場

第壹號

第一期	第二期	人	名
何月何日 一(金何程) 内 金何程 何月何日領収 金何程 何月何日領収	何月何日 一(金何程) 何月何日領収	何町村	何之誰
何月何日 一(金何程)	何月何日 一(金何程)	何町村	

ク日計ヲ付シ之ヲ爲換方ヘ預ケ入ントスルトキハバ印ノ如ク合計ヲ付シ第一號帳簿ハ印乃至第四號帳簿ロ印ノ金員ヲ合計照査スルモノトス

(此帳簿ハ一町村毎ニ調製スヘシ)  
(印ハ朱書)

第一類

第四

縣稅

付備荒儲蓄

賦金



		計 合	
何年度營業 稅收納元帳 (此帳簿ハ一町村毎ニ調製スヘシ) 何町 戸長役場	何月何日領収 (何月何日領収)	何月何日 一(金何程) 何月何日債主何某 辨納	何月何日領収 (内) 金何程何月何日領収 (金何程何月何日領収)
	金何程 内ハ 金何程何月何日預ケ入 金何程何月何日預ケ入	何月何日 一(金何程) 何月何日何年第何期 何租不納財產公賣ニ 附スルモ望人無之官 没ノ爲メ欠損	何町村 何之誰

三百二十四

		何年度地方稅商業稅稼績		何町村	
	第一期 何月何日 一(金何程) (何月何日領収)	何月何日 一(金何程) (何月何日領収)	何町村 何之誰		
	第二期 何月何日 一(金何程) (何月何日領収)	何月何日 一(金何程) (何月何日領収)	何町村 何之誰		

三百二十五

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金



計 合			何年度地方税工業税稼績	何町村
第 一 期	第 二 期	人 名		
何月何日 一(金何程) 何月何日何々ニ付減 何月何日 一(金何程) 何月何日領收 残金何程	何月何日 一(金何程) 何月何日何々ニ付減 何月何日 一(金何程) 何月何日公賣處 残金何程分ノ未追徴 何月何日公賣處分ノ未 欠損 何月何日 一(金何程) 何月何日財産取調フ ルモ公賣ニ附スヘキ	何町村 何之誰		

計 合			何年度雜種税金納元帳 (此帳簿ハ一町村毎ニ調製スヘシ) 何町村 戸長役場
何月何日公賣處分濟 追徴	財産一切無之欠損	何之誰	



計合

何年度地方稅料理屋稼續		何町村	
第 一 期	第 二 期	人	名
何月何日 一(金)何程 二(金)何程 (何月何日領収)	何月何日 一(金)何程 何月何日公賣處分之 未追徴	何町村	何之誰
何月何日 一(金)何程 何月何日何々ニ付欠 損	何月何日 一(金)何程 (何月何日領収)	何町村	何之誰

何年度地方稅船稅稼續		何町村	
第 一 期	第 二 期	人	名
何月何日 一(金)何程 何月何日國稅不納ニ付 財產公賣ニ付スル代價 國稅ノ不納額ニノミ充 スルヲ以テ欠損	何月何日 一(金)何程 何月何日破解届出ニ付 減	何町村	何之誰
何月何日 一(金)何程 何月何日財產取調ニ着 手セテ所本人不在財產 所在不明ニ付何月何 日該理由郡長へ上申	何月何日 一(金)何程 何月何日流失ノ儀届出 ニ付減	何町村	何之誰







全日	何期何稅	何程						何	人
全日	新規何稅	何程						何	人
	計	何程						何	人
何月何日	何期何稅	何程						何	人
全日	何期何稅	何程						何	人
全日	何期何稅	何程						何	人
計	何程							何	人
合計	何程	何月何日	何月何日	何					
	以下倣之								

三百三十一

<p>○達第二十九號 明治二十年二月二十六日 郡役所 戸長役場 備荒儲蓄公儲金記帳手續ノ義ハ郡役所ハ本年二月廿二日達第廿五號ニ戸長役場ハ同第廿六號地方稅記帳手續ニ準據シ明治廿年度ヨリ取扱フヘシ</p>	
<p>○丙第七十一號 明治十三年二月廿三日 郡役所 各役場ニ於テ地方稅金水火災或ハ盜難等ニ罹リ候節該町村戸長ヨリ其郡役所へ申出候ハハ事由取亂之上尙最寄警察署又ハ分署へ實地之景況探偵方照會シ篤ト事實ヲ取調處分方可申出此旨相達候事 但警察署及分署へハ別段通知致置候事</p>	
<p>○丙第四百七十八號 明治十五年十月 郡役所 本年甲第四百二十四號布達備荒儲蓄法施行規則第四章第十八條ニ依リ罹災者救助報告ハ別表雛形ニ照準ニ通調製其都度可指出此旨相達候事 但既ニ報告済之向ハ本文ニ準シ更ニ製表指出スヘシ</p>	
<p>何郡罹災救助報告表</p>	
指令	何郡
罹災給與人員男女	罹災給與人員男女
年月日	年月日
種目	種目
食料	食料
金員	金員
石敷相場	石敷相場
小屋葺料	小屋葺料
農具料	農具料
種穀料	種穀料
所有反	所有反
所作反	所作反
住所郡	住所郡
戸主姓名	戸主姓名

第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

三百三十三







増減を生シ事蹟ト明瞭記載スルモノトス  
但豫算決定後特ニ臨時ノ増減ヲ生セシモノ又ハ科目ノ新設ニ係ル者等ハ大小科目ニ  
於テ其理由ヲ判明ニ掲出スル者トス

第二條 決算報告書ハ別紙書式ニ準據シ毎大科目ニ於テハ豫算外臨時ノ増費及減額ヲ廉  
限リ其事由ト金員トヲ掲ケ其他流用ノ増減ハ之ヲ記載セズ仕拂殘ノ金額ヲ掲記スルニ  
止メ毎小科目ニ於テハ流用ノ増減及ヒ仕拂殘ト雖モ其増減ヲ生セシ事由ト金員トヲ明  
瞭ニ記載スヘシ前期決算ノ比較ハ毎大科目ニ於テハ事由ノ著名ナルモノ及ヒ多額ノ増  
減ハ一事項毎ニ金員事由ヲ記載シ僅少ノ増減ハ種々ノ事項トシ其金員ヲ掲ケ毎小科目  
ニ於テハ事由ノ細大金額ノ多寡ニ拘ハラズ一事由限リ金員ヲ區分詳悉記載スルモノト  
ス

用紙美濃野紙

明治何年度(何々)經費決算報告書

何 所

明治何年度(何々)經費決算報告書  
本年度何々(大科目)豫算ノ總計ハ若干圓ニシテ其決算ノ總計ハ若干圓ナリ此ノ總計ヲ比  
較スレバ決算ノ豫算ニ減少(超過)スルコト若干圓ナリ

此減少(超過)セシ所以ハ何々ニ依リ若干圓何々ニ依リ若干圓仕拂殘若干圓併セテ若干圓  
ヲ減少(増加)スルト雖モ何々ニ由リ若干圓何々ニ由リ若干圓併セテ若干圓ヲ増加(減少)  
セシニ由リ前記ノ減少(超過)ニ止ルナリ  
又本年度決算ノ總計ヲ以テ前年度決算ノ總計若干圓ニ比スレハ本年度決算ノ減少(超過)  
スルコト若干圓ナリ  
此減少(超過)セシ所以ハ何々ニ由リ若干圓何々ニ由リ若干圓種々ノ事項ニ由リ若干圓併  
セテ若干圓ヲ減少(超過)スルト雖モ何々ニ由リ若干圓何々ニ由リ若干圓併セテ若干圓  
ヲ増加(減少)セシニ由リ前記ノ減少(超過)ニ止ルナリ  
茲ニ各科目ノ金額ヲ區分シ其増減ヲ示ス左表ノ如シ

科 目	決 算 額	豫 算 額	前期決算額	本期決算ノ増減	
				増減	率
何々(小科目)					
何々					
何々					
何々					
通 計					







第一類 第四 縣稅 付備荒儲蓄 賦金

種																					
漁業	入會職漁同	築川留同	持場同	屠畜	牛	猪	羊	乘馬	渡世	自	水車	何	車	何	船	何	人寄席	何	遊技場	遊覽所	興行
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	何	何	何					同	何	何	何	何	何	何	何	同	同	同	何	何	何
	人	所	所					頭	何	個	輛	艘	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	何	何	何					同	何	何	何	何	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	人	所	所					頭	何	個	輛	艘	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	何	何	何					同	何	何	何	何	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	人	所	所					頭	何	個	輛	艘	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	何	何	何					同	何	何	何	何	何	何	同	同	同	何	何	何	何
	人	所	所					頭	何	個	輛	艘	何	何	同	同	同	何	何	何	何

三百四十一

演劇	市	藝	附	俳	相	遊	遊	備	理	湯
劇	場	妓	間	優	撲	藝	師	人	髮	屋
日	月	定							抱	一
限	並	市							入	人
市	等	等							職	工
同	同	同							工	業
金	同	同							同	同
何	同	何							同	同
程	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何							同	同
何	同	何							同	同
度	同	何								



地租割	採藻		入會遊漁金	何程何	人何	人何	人何人
	同	同					
同	同	同	何	羽何	羽何	羽何	羽何
同	同	同	何	羽何	羽何	羽何	羽何

凡例

一 等級種別ノ區何等何間何車トアルハ每等級又ハ間數種類ニ依リ稅額ノ差異アル毎コ之ヲ列記シ又工業ノ抱入職工トアルハ會社ニテ抱入タルモノト一人工業者ニ於テ抱入タルモノト各別ニ掲記スヘシ

一 員數ノ區ハ前後各半期內ニ於テ新規ト廢業トチ問ハス課稅シタル總員數ヲ記シ現員ノ區ハ總員數ヨリ廢業ヲ扣除シタル翌期ニ引續クヘキ現在ノ員數ヲ記スヘシ

○丙第六十六號 明治十九年三月四日 郡役所

地方稅並町村費ノ戶數割ヲ不納スルモノアルハ明治十年第七十九號布告第三條ニ據リ土地家屋ヲ除キ他ノ財産ヲ公賣處分ヲ爲サントスルニ方リ其財産中貸付金穀ノ證書アルハ郡長ヨリ其證書ニ記名アル債主ヘ其偽ヲ尋テ無相違ニ於テハ直チニ公賣處分シ該證書ハ民事身代限處分ノ節貸付金穀證書裏書ノ例ニ倣ヒ裏書ヲ爲シタル上之ヲ買受人ニ下付シ其旨債主ヘ通告可致此旨相達候事

○郡第九十六號 明治十九年十月廿二日 某郡役所(各通)

其郡役所爲替方ヘ別紙寫之通リ相達候條此旨心得ヘシ 右訓令ス

一 各所ヘ収納スル地方稅金ハ別紙雛形ノ切符ヲ添ヘ送納スヘキニ依リ預リノ証印ヲ捺シ切符ハ納主ニ返付シ現金ヲ収納スヘシ但シ甲乙帳簿ハ設クルヲ要セス

一 爲換方ニ於テ領収シタル現金ハ秋田大町三丁目第一國立銀行ヘ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

此ノ一號甲乙接續セル切符ニ現金ヲ添ヘ送納ニ係ルキハ一印及二印ノ如ク預リノ証印ヲ捺シ各納主ニ相渡スヘキモノトス

第壹號 (印ハ朱書)

甲 明治何年度第二期地租割 (營業稅雜種) 納期何月何日限

郡役 一 金何程 郡長 何郡何町村 郡長 何郡何町村分

所印 官印 戶長何ノ誰 官印 官印

右可相納候也 郡役 所印

明治何年何月何日

乙 明治何年度第一期地租割 (營業稅雜種) 納期何月何日限

郡役 一 金何程 郡長 何郡何町村 郡長 何郡何町村分

所印 官印 戶長何ノ誰 官印 官印

右稅金何月何日何郡役所爲替方ヘ相預上納候也 郡役 所印

明治何年何月何日 戶長何ノ誰



此ノ二號三號ノ切符ヲ以テ送納ニ係ルキモ第一號ノ如ク手續ヲ爲スヘシ

第二號

明治何年度分  
 何々税(小科目)第何期  
 一金何程<sup>①</sup> 何郡何町村分<sup>②</sup>  
 又ハ何郡何町村<sup>③</sup> 何ノ誰分<sup>④</sup>  
 右現金何月何日何郡役處爲替方ニ相預  
 上納候也  
 年月日 何郡何町村 誰<sup>⑤</sup>  
 戸長 何ノ 誰<sup>⑥</sup>

第三號

明治何年度第一期地租割(營業稅雜種)  
 納期何月何日限  
 一金百圓 何郡何町村分  
 內金九拾五圓<sup>①</sup> 何郡何町村分<sup>②</sup>  
 內金五圓<sup>③</sup> 何月何日納<sup>④</sup>  
 右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預  
 上納候也  
 年月日 何郡何町村 誰<sup>⑤</sup>  
 戸長 何ノ 誰<sup>⑥</sup>

面 表

金五拾圓	月日納
金貳拾圓	月日納
金貳拾五圓	月日納
小以金九拾五圓	月日納

面 裏

此ノ四號ノ切符ヲ以テ送納ニ係ルキモ第一號ノ如ク手續ヲ爲スヘシ

第四號

明治何年度第一期地租割(營業稅雜種)  
 納期何月何日限  
 高金百圓之内  
 一金九拾圓<sup>①</sup> 何年何月何日納濟<sup>②</sup>  
 一金拾圓<sup>③</sup> 何郡何町村何ノ誰分<sup>④</sup>  
 何月何日不納處分濟追徴之分  
 右現金何月何日何郡役所爲替方へ相預  
 上納候也  
 年月日 何郡長何ノ誰<sup>⑤</sup> 印

○郡第七十四號 明治二十年三月十二日

郡役所

郡役所地方稅及備荒儲蓄金徵収事務檢査規程別紙之通相定ム

右訓令ス 郡役所地方稅及備荒儲蓄金徵収事務檢査規程

第一條 郡役所地方稅及備荒儲蓄金徵収事務ハ稅部徵収課員ヲ派遣シ之ヲ檢査セシム

ルモノトス 第二條 檢査ハ年二回トシ一チ定期檢査トシ一チ臨時檢査トシ定期檢査ハ毎年六月ヲ以

テ之ヲ爲スモノトス